

Xive

補綴マニュアル ザイブ



スマートな診療

ザイブはインプラントとアバットメントの接合部でヘックス コネクション接合のメリットをお求めになる歯科医師の皆様へ、柔軟性、スマートさ、そして使いやすさを提供します。このシステムはもともと、歯科医師と企業とのコラボレーションにより、ユニークかつ先駆的研究のもと開発されたものです。効率的なインプラント システムを開発するという共通の目的のもとに、経験と革新が統合された結果、世界中の歯科医院とその患者様に信頼性と安心感が届けられています。

目次

システム コンセプト	4
治療計画	8
インプラントの治療および露出	12
インプラントの治療	12
インプラントの露出	14
軟組織マネジメントおよびテンポラリー ソリューション	15
ザイブ補綴物	22
フリアドント / ザイブ補綴の基本	22
ザイブ 補綴ナビゲーター	25
印象採得	32
インプラントレベルの印象採得	34
アバットメントレベルの印象採得	38
ザイブによる修復	44
単独歯のクラウン	44
広範囲な欠損および無歯顎向けの固定式ソリューション	62
無歯顎向けの可撤式ソリューション	76

システムを初めて使用する場合は事前に本マニュアルをよくお読みください。また、システム、コンポーネントとインスツルメントの使用説明書に記載されている指示事項と注意事項には必ず従ってください。また弊社では、新しいインプラント システムを最初に使用する前に、すべてのユーザーにシステムのトレーニング コースにご参加いただくようお勧めしています。

全製品が、すべての市場で法的認可を受け、市販され、使用許諾を受けているとは限りません。最新の製品ラインアップにつきましては、最寄りのデンツプライシロナ インプラントにお問い合わせください。

カタログ・マニュアル中に記載されている ™ および ® は、米国連邦商標法に基づき記載されたもので、日本における登録商標を意味するものではありません。

お客様の読みやすさの向上のため、デンツプライシロナ インプラントでは本文中に ® または ™ を使用していません。ただし、デンツプライシロナ インプラントが商標権を放棄することは一切なく、いかなる記述もそれと反して解釈されるべきではありません。

製品イラストの縮尺は、実物と異なります。

システム コンセプト

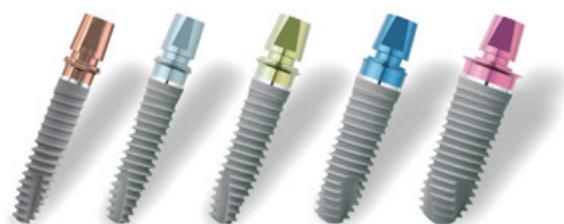
包括的なインプラント セレクション

ザイブ インプラントの径と長さ

極めて狭い歯間スペースの限られた症例または無歯顎、硬い骨質または軟らかい骨質、1回法または2回法のいずれであっても、ザイブはあらゆる症例で卓越した予知性の高い結果が得られるようサポートします。

3.0mmから5.5mmまでの径および8mmから18mmまでの長さの広範囲に及ぶインプラントを用いて、骨質に合わせた埋入窩形成プロトコールと幅広い補綴オプションをシステムに利用できるため、世界中の歯科専門家から高い評価を得ています。

複雑な解剖学的状況においても、インプラントのさまざまな径および長さとしリンダータイプのインプラント本体との組み合わせにより、埋入可能な骨量が最適化されます。ほとんどの場合、追加のグラフト処置は必要ありません。



カラーコード

ザイブの各インプラント径は異なるカラーコードで識別されます。カラーコードは、インプラント パッケージ、インスツルメントおよび補綴コンポーネントのすべてに付与されています。カラーコードにより、径の識別と正しい補綴コンポーネントの選択が容易になります。



ザイブ インプラント アバットメント コネクション

ザイブ： 深いインターナルヘックス コネクション

深いインターナルヘックス ザイブ インプラント アバットメント コネクションは、インプラントの内部形状から直接加えられる側方力をアバットメントを介して伝達することにより、補綴コンポーネントをインプラントに固定します。

ザイブ インプラント アバットメント コネクションでは以下が得られます。

- 6方向の明確かつ正確なアバットメントの位置決め
- インターナルヘックスによる回転防止
- インプラントの3.5mmの深い平行ガイド面およびインプラント表面の広い平滑面による優れた安定性
- 広範囲の補綴オプション

フリーアデント アバットメントスクリューを締め付けると、横方向の力がかからなくなります。これは、スクリューの緩みや破損の防止に効果的です。



回転防止機能を備えた、深いインターナルヘックス インプラント アバットメント コネクション

セルフカッティング スレッドと内部コンデンス専用のコア デザインを備えるザイブ

使いやすさと汎用性に優れた補綴物

ザイブの審美的コンセプト – 個々の患者に合わせたエマージェンスプロファイル輪郭

機能性と審美性を実現するには、解剖学的にデザインされたコンポーネントを使用した治療コンセプトが理想的です。ザイブの審美的コンセプトは、既製でしかもカスタマイズが可能なザイブ インプラントシステムのコンポーネントを使用するための、4段階の治療ステップで構成されています。外科術式は骨質に応じて調整され、独自のテンプレースを使用してエマージェンスプロファイルが形成されます。印象採得の際には、輪郭形成されたエマージェンスプロファイルが個々の患者に合わせたトランスファーコーピングによって記録されます。最終補綴物は、患者固有のアトランティス アバットメントのオプションまたは既成のアバットメントのいずれかを使用して作製できます。

多機能テンプレースの3-in-1コンセプト

完全閉鎖創による治療の症例では、手術直後にテンプレースを使用して印象を採得できます。歯科技工所はこの印象を用いて、高い品質と適合精度のテンポラリーレストレーションを治療期間中に作製できます。



アトランティス アバットメント



アトランティス
インプラントスーパーストラクチャー



インプラント埋入と
インデックス記録

テンプレースキャップ

ザイブ テンプレースおよび
フリーアデント テンプレースキャップ

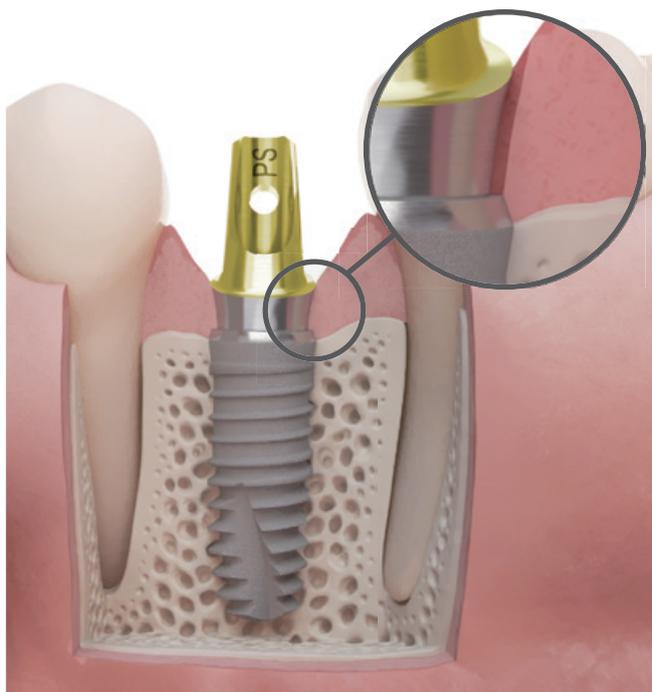
プラットフォームスイッチング コンセプト

インプラント周囲の骨レベルと軟組織の健康状態に構造が関連する要因があり、治療の成功を大きく左右するおそれがあります。

たとえば、アバットメント径を小さくする手法は「プラットフォームスイッチング (PS)」と呼ばれ、骨レベルと軟組織の健康状態の維持に有効です。

プラットフォームスイッチングによる骨の維持

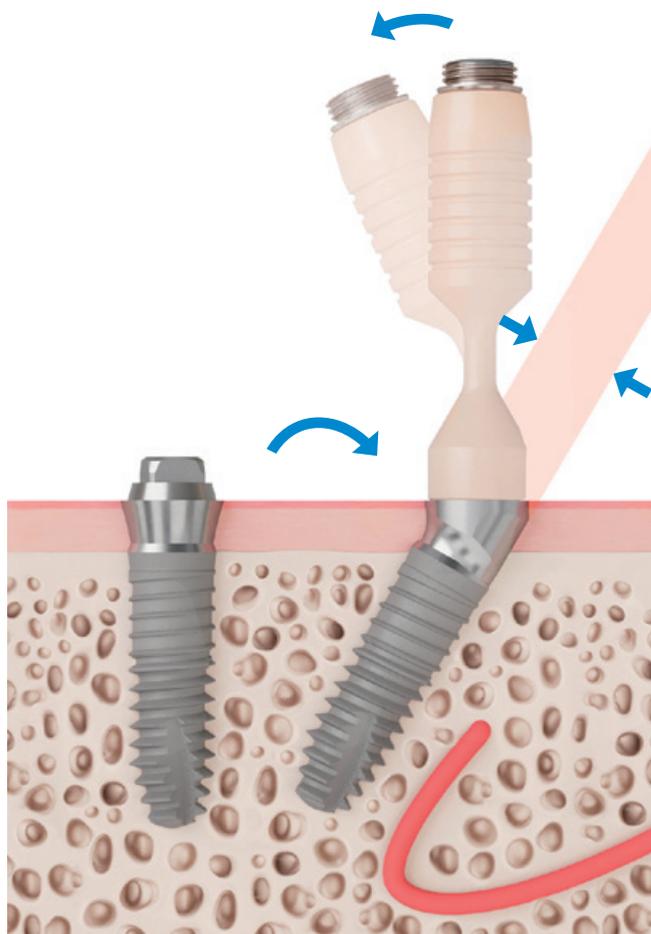
プラットフォームスイッチングのために統合化されたオプションを備える平滑化及び研磨済みインプラント頸部の独特のデザインが、サイズデザインの大きな特徴です。さらにアバットメント径を小さくすることで、インプラント周囲組織にプラスの効果を得られます。プラットフォームスイッチング コンセプトによって修復を成功させるには、最終アバットメントの径を小さくするだけでなく、初めから小さい径のカバースクリューを使用し、該当する各補綴コンポーネントを用いて進めることが重要です。サイズの補綴ポートフォリオには、これらのすべてのコンポーネントが含まれています。



SmartFix® コンセプト — 傾斜埋入されたインプラントによる補綴ソリューション

SmartFix コンセプトは、スクリュー固定式修復による4本のインプラントへの即時荷重のための、短時間で行える治療法です。傾斜埋入されたインプラントを15°または30°のサイズ MP アバットメントアングルドとともに用いることで、安定した補綴適合が得られるとともに重要な解剖学的領域を避けることができます。

補綴修復には、従来の既製の上部構造または高精度の適合を備えたアトランティス上部構造のいずれかを選択できます。



治療計画

治療計画

治療計画は、患者が治療に何を望み期待しているかを正確に判断し、想定されるあらゆる禁忌を見つけ出し、さらに治療に関する詳細を患者に説明するために使用される、患者との総合的なコンサルテーションに基づいて作成されます。

その後、初期の解剖学的状況の分析とともに、一般のおよび個別的な病歴と口腔内の診査が完全に行われます。

以下の点を考慮する必要があります。

- 病歴
- 一般的診断 — 禁忌の除外
- 専門家による危険因子のコンサルタント
- 詳細な口腔内診断（PAR診断、機能的検査、歯の喪失の理由、古い義歯の評価、一般的X線検査）

治療計画は、すべての診断書の調査と評価を行った後で作成することができます。

治療計画には以下を含める必要があります。

- 補綴前計画
- 手術計画
- スケジュール
- 予定費用

長期にわたる治療の成功を実現するには、あらゆるインプラント処置を正確に計画することが極めて重要です。治療計画のプロセスには、患者がインプラント補綴リハビリテーションに期待する機能性と審美性に対応できるすべてのアクションが定義され、代替手段のリストが記載されます。

ザイブの適応

ザイブ インプラントは、想定されるすべての外科的適応に対して優れた補綴修復を提供します。ザイブ インプラントは、以下の症例において特に優れています。

- グラフトが望ましくないまたは適応でない場合（例えば、萎縮した歯槽堤、複数のインプラントで支持する臼歯部の修復など）
- シリンダー形状のインプラントデザインが有利な場合 — 特に臼歯部
- 既存骨を最大限利用する必要がある症例（インプラント長は8mm～18mm）
- インプラントによる即時機能回復のために、高い初期固定が必要な場合

ザイブの機能

ザイブは以下の状況において理想的です。

- 歯槽間の量が限られている場合 — 最小インプラント径はD 3.0
- シンプルかつ迅速な補綴修復のために一時的および最終的なコンポーネントが望まれる場合
- 高度な補綴物の柔軟性が求められる場合



ザイブ
(粘膜下埋入型)



粘膜下埋入型ザイブ
インプラントによる下
顎の単独歯修復

従来の治療計画

補綴前計画

歯科技工士による補綴前計画の作成は、インプラント処置の審美的および機能的成功を実現する上で最も重要な要素です。目標は、インプラントによる歯のレプリカ埋入をできる限り最適化させることにあります。

患者との初回の計画セッションの際に、歯科技工所で作製される診断補助具のベースとして使用するための印象が採得されます。

計画されている補綴修復の診断用ワックスアップが作製されます。

患者の口腔内に正確に再配置できる、X線撮影用ボールを備えた熱成形連結が作製されます。作製後に修正が行われ、従来の既製のサージカルテンプレートが形成されます。

フリアデントセレクトのコンポーネントにより、補綴前計画が簡略化されます。

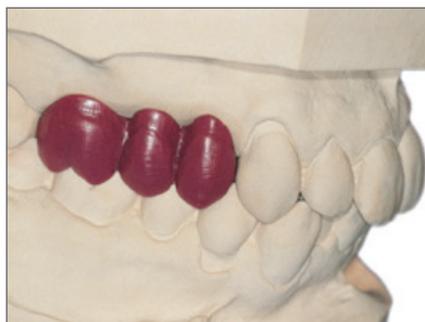
手術計画

外科的および補綴的治療計画の完了時に、補綴前計画を臨床症例に反映させるために使用するサージカルテンプレートが作製されます。

サージカルテンプレートの正しい固定を、口腔内で確認する必要があります。口腔前庭と角化組織までの幅は1.5mm以上としてください。オトガイ孔や上顎洞などの重要な解剖学的構造の位置と方向は、X線検査により判断しなければなりません。形成の前に機械的に安定した状態を完全に再現するには、グラフト領域の確認が必要です。

計画されている補綴手法をチェックして、適切な外科術式によってこの補綴手法が実現可能であることを確認する必要があります。補綴前計画と手術計画のすべての側面は、相互に直接作用を及ぼします。補綴前計画を変更すると必ず手術計画に影響し、反対の場合も同様です。この変更には、インプラントの数、径、長さ、位置および方向が含まれます。埋入可能な骨量および重要な解剖学的構造は、歯科技工所で作製されるX線撮影用ボールを備えたラジオグラフィックテンプレートを患者の口腔内に装着して撮影したX線画像で確認されます。

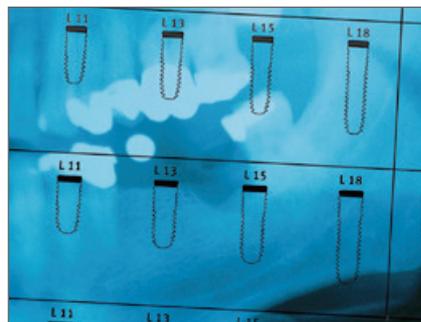
口腔内の寸法は、X線撮影用ボールの規定の寸法から正確に計算できます。インプラント長は、透明なザイブ X線テンプレートを配置することによりパノラマX線撮影法で選択されます。



診断用ワックスアップ



X線撮影用ボールを備えた熱成形スプリント



ザイブ ラジオグラフィック テンプレート

コンピューターガイデッド治療計画

シムプラントソフトウェア

3次元画像法に基づくデジタル化された治療計画を用いると、極めて高い精度で治療を計画し、治療結果の予知性を高めることができます。

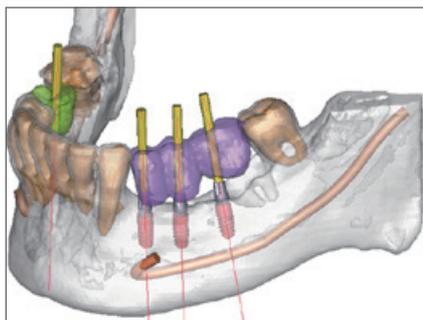
デンツプライシロナ インプラントが提供するガイデッドサージェリーには、シムプラントソフトウェアに基づくデジタル化された治療計画およびテンプレートでガイドされるインプラント埋入のためのソリューション一式が用意されています。デジタル化された治療計画が従来の治療計画より優れている点を以下に示します。

- インプラントの治療領域をミリメートル以下で3次元表示することができ、期待する治療結果を安全にシミュレーションすることができます。
- 干渉コントロールにより、インプラントと神経（下歯槽神経）間のクリアランスが不適切であることが示される
- 達成可能な初期固定の評価のために、インプラント周囲の骨質に関する情報が得られる

シムプラントセーフガイド

患者固有のシムプラントセーフガイドは、デジタル化された治療計画データを使用して光造形によって作製されます。これにより、ラテラルアクセス可能な独自のドリルガイドが得られるため、患者の口腔への完全かつ正確な治療計画の反映が臼歯部においても確保されます。

テンプレートでガイドされるインプラント埋入のために特別に開発されたスリーブ・オン・ドリルシステム（インスツルメントに取り付けられたガイドスリーブ付ドリル）により、インプラントの計画位置の正確な反映と、確実なインプラント埋入が可能になります。



シムプラントによるデジタル化された治療計画



患者固有のシムプラント ドリル ガイド



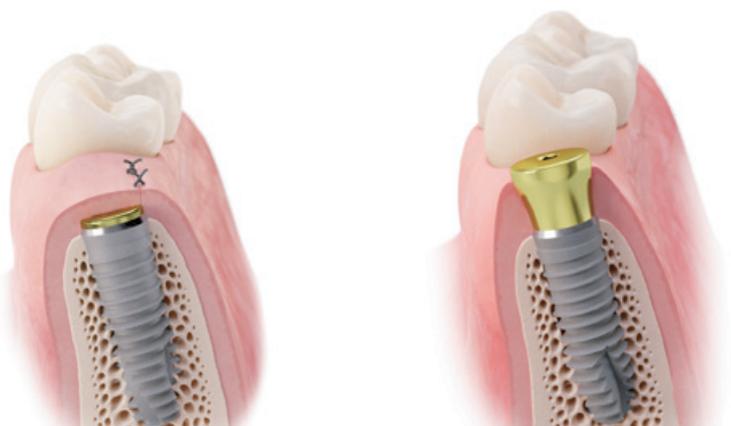
スリーブオンドリル システムおよびラテラル アクセス可能なドリル ガイド

インプラントの治癒および露出

インプラントの治癒

粘膜下埋入型 – 粘膜貫通型 – 即時修復

ザイブ インプラントシステムは、症例や計画されている修復のタイプに応じた、インプラント埋入後のさまざまな治療方法を可能にします。



粘膜下治癒

粘膜下治癒による2回治療プロトコルの症例では、インプラントをカバースクリューで密閉し、インプラント上部の粘膜を縫合します。免荷治療期間を確保しなければなりません。原則として、上顎および下顎の位置に関わらず、3～4ヶ月の間インプラントを治癒させておく必要があります。骨増生を同時に行う症例では、治療時間を適宜延長してください。

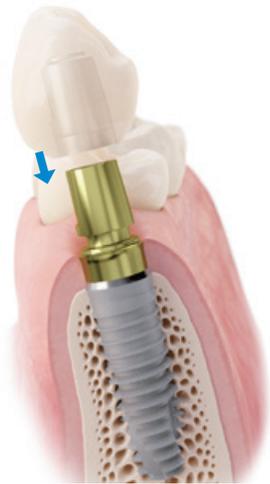
粘膜貫通治癒

インプラントの粘膜貫通治療では、2回目の手術を回避できます。また、最適な軟組織治療と理想的なエマーゼンスプロファイルの形成が可能です。インプラントはジンジバルフォーマーを使用して密閉されます。

径の選択時に、その後で使用される補綴物の形状をあらかじめ考慮することができます。ジンジバルフォーマーはインプラントから独立したコンポーネントであるため、治療期間中にエマーゼンスの高さが異なるアバットメントを選択して審美性を確保することができます。

- カバースクリュー固定後の粘膜下埋入治療
- ジンジバルフォーマーによる粘膜貫通治療による即時修復
- 即時修復

多機能フリアダント テンプベースが、プレースメントヘッドとしてすべてのザイブ インプラントに事前に付与されています。ザイブのユニークなテンプベースコンセプトにより、即時の高品質なテンポラリーレストレーションがほとんどの症例で可能です。



即時修復

テンポラリーレストレーションによる即時修復の臨床的前提条件に適合していれば、インプラント埋入直後のインプラント支持による修復を患者に提供できる絶好の機会です。

2回目の手術は不要になり、患者は結果をすぐに見ることができます。

ステップバイステップ: インプラントの露出

インプラントの完全閉鎖創による治癒の症例では、3～4ヶ月後に以下に示すようなインプラントの低侵襲の露出を実施してから、軟組織の輪郭形成を行うのが一般的です。インプラントのヒーリングコンポーネントによる治癒の症例や、短期テンポラリーレストレーションによる即時修復の症例では、

以下の手順は不要です。必要に応じて、カスタマイズされたテンポラリーレストレーションを作製（17ページを参照）するか、またはすぐに印象採得（34ページを参照）を行うことができます。



切開

インプラントの位置を確認してインプラントの上に麻酔薬を直接塗布してから、歯槽頂切開を行ってカバースクリューを露出させます。インプラント位置の確認は、ドリルガイドの再使用により簡単に行えます。

露出

カバースクリューが見えるようになるまで、アングル ラスパを使用して創面の縁を若干広げます。プローブを使用してカバースクリューの中央のスレッドの位置を確認します。必要に応じて、キュレットを使用してカバースクリューの上の結合組織や骨をできるだけ低侵襲で取り外します。

フリアデント カバースクリューの取り外し

ラチェット用またはコントラアングルハンドピース用のヘックスドライバー 0.9mmをカラーコード化されたカバースクリューの内部ヘックスに挿入し、反時計方向に回してインプラントから取り外します。ジンジバルフォーマーを挿入する前に、スリーウェイ シリンジを使用してインプラントの内部ヘックスを洗浄して乾燥させます。

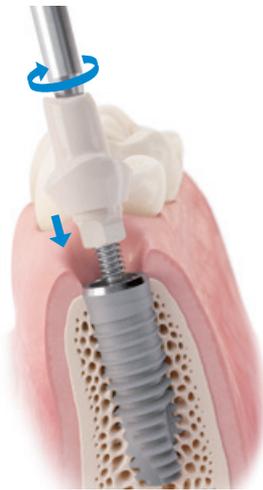
軟組織マネージメント およびテンポラリー ソリューション

プラットフォームスイッチングオプションについて詳しくは、46～47ページを参照してください。

別の術式



別の術式



ザイブ ジンジバルフォーマー C – 最適な治療と解剖学的形態

ザイブ ジンジバルフォーマー Cは、粘膜の密着によりインプラント周囲軟組織の円形の解剖学的形態をもたらします。ザイブ ジンジバルフォーマー Cは、スリムおよびPSのバージョンも用意されています。ザイブ ジンジバルフォーマー Cとその使用手順について詳しくは、18～19ページを参照してください。

フリアドント エステティキャップ – 審美的解剖学的形態のためのテンポラリーソリューション

フリアドント エステティキャップは、審美的要求度の高い修復のために、カスタマイズ可能なテンポラリーレストレーションのオプションと軟組織の解剖学的形態を提供します。フリアドント エステティキャップとその使用手順の詳細については、20～21ページを参照してください。

ステップバイステップ： ザイブ テンプベースを使用したインデックス印象

チェアサイド手順



テンプベースキャップの固定

インプラントにフリーアデント テンプベースアバットメントを残すか、または必要に応じてインデックス印象に合わせて挿入します。側方のタブを切り取ってから適切なサイズのテンプベースキャップをテンプベースに固定し、パーツをしっかりとみ合わせます。インデックス印象は、模型上で作製されたドリルテンプレートを用いて手術前に採得するのが理想的です。

ドリルテンプレートを取り外します。

テンプベースキャップに正しく固定できるように、ドリルテンプレートを取り外します。

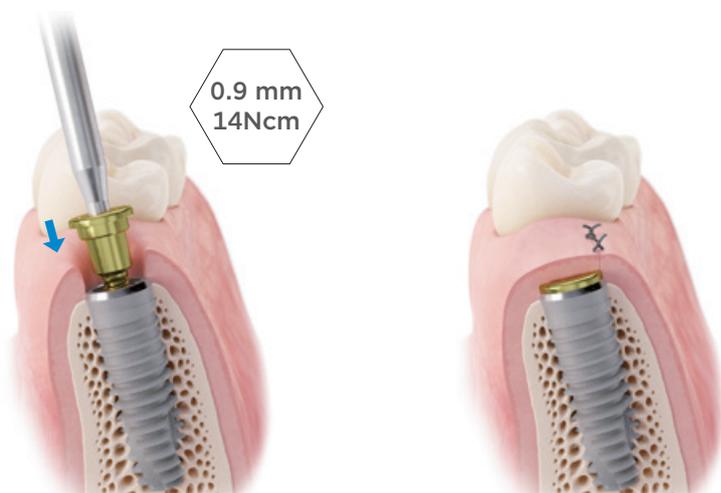
印象採得

テンプレートに重合剤（パターンレジンまたは光重合型コンポジットレジン）を満たし、テンプベースキャップに固定して重合させます。

粘膜の炎症やアレルギー反応を避けるため、重合剤を使用する前にラバーダムを口腔内に入れてください。

重合剤を使用する前に、作製元の使用説明書に記載されている手順を確認してください。

別の術式



フリアデント カバースクリューの固定

重合剤が硬化したらテンプレートを取り外します。

ヘックスドライバー 0.9mmを使用してテンプレートを取り外し、同じドライバーを使用してフリアデント カバースクリューを固定します。

縫合

細菌や唾液が侵入しないように創面を縫合します。

プロセスを先に進めるために、印象とテンプレートを歯科技工所に送ります。

オッセオインテグレーションが得られたらインプラントを露出させ、テンプレートキャップを用いてテンプレート上でテンポラリーレストレーションを形成します。

歯科技工所での作業工程

治療期間中に歯科技工所は、インプラント埋入時の正確なインプラント位置を示す模型を作製します。

この模型上で個々の症例に合わせたテンポラリーレストレーションが作製され、インプラント露出の直後にこれを患者に提供できます。

ステップバイステップ: ザイブ ジンジバルフォーマー C

ザイブ ジンジバルフォーマー Cでは、インプラント周囲組織のシンプルな解剖学的形態が得られます。湾曲したエマージェンスプロファイルにより、最終補綴物の審美性を改善する余地が生まれます。



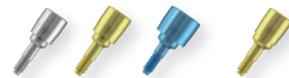
治癒期間中に軟組織の解剖学的形態を得るためにジンジバルフォーマーが配置される。
(写真提供: H. Salama, DMD および M. Salama, DMD、米国ジョージア州アトランタ)



粘膜の適合が行われ、縫合によって粘膜の位置が固定される。



ザイブ ジンジバルフォーマー C およびザイブ ジンジバルフォーマー PS C



ザイブ ジンジバルフォーマースリム C およびザイブ ジンジバルフォーマー PS スリム C

ザイブ ジンジバルフォーマー C

- 湾曲したエマージェンスプロファイル - 印象コーピングと最終アバットメントの適合
- チタン合金
- 1.22ヘックスドライバー コネクション - 手指で締め付け
- カラーコード化
- 上部にレーザー タグ付き



オプションで以下も使用できます。

ザイブ ジンジバルフォーマースリム C

- 近遠心スペースが限られる場合でも、軟組織の最適な解剖学的形態が得られる



プラットフォームスイッチングオプションについて詳しくは、46 ~ 47ページを参照してください。

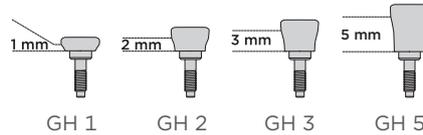
ザイブ ジンジバルフォーマー PS C

- 直径の小さいアバットメントによる補綴を計画する場合に軟組織の解剖学的形態を得る
- 長期的な審美結果を実現する安全性をサポート

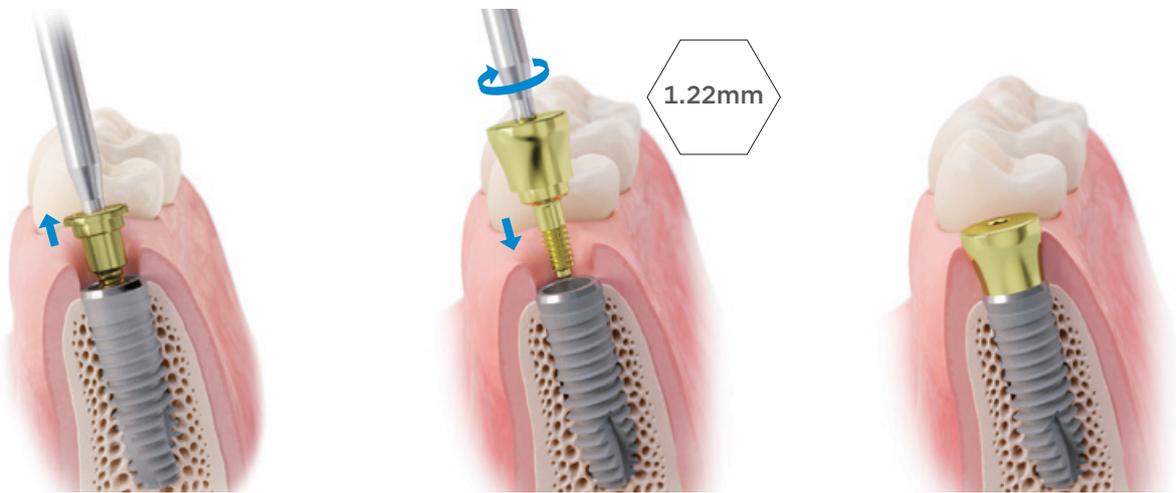


ザイブ ジンジバルフォーマー PS スリム C





ザイブ ジンジバルフォーマー C は1.22ヘックスドライバーを使用して手で締め付けます。



フリアダント カバースクリューの取り外し

インプラントを露出させたら、ヘックスドライバー 0.9mmを使用してフリアダント カバースクリューを緩めて取り外し、インプラントの内部形状を洗浄します。

ザイブ ジンジバルフォーマー Cの配置

インプラント径、幅径および粘膜の高さに応じてジンジバルフォーマーを選択します。ヘックスドライバー 1.22mmで配置し、手で締め付けます。スペースが限られているなどの特殊な症例では、ジンジバルフォーマースリムを使用してください。すべてのジンジバルフォーマーは径に応じてカラーコード化され、レーザーでタグ付けされています。

縫合

テンションがかからないように軟組織をジンジバルフォーマーの周囲に適合させてから、しっかり縫合します。

クラスデンチャーや隣接歯に固定されるブリッジなどの既存のテンポラリーデンチャーは、ジンジバルフォーマーに圧力が加わらないように研磨してから提供します。インプラントの最終補綴物は、インプラント周囲軟組織が治癒し、炎症が消失してからでなければ装着できません。

ステップバイステップ： フリアドेंट エステティキャップ

フリアドेंट エステティキャップは、スクリー固定式またはセメント固定式テンポラリークラウンまたはブリッジの作製時に使います。審美性に優れた軟組織の解剖学的形態を得るため、患者固有のジンジバルフォーマーとして適合されま

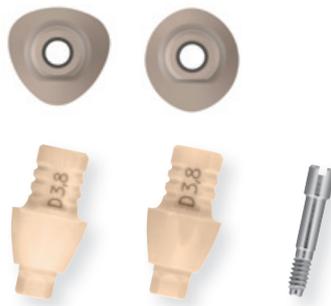
す。



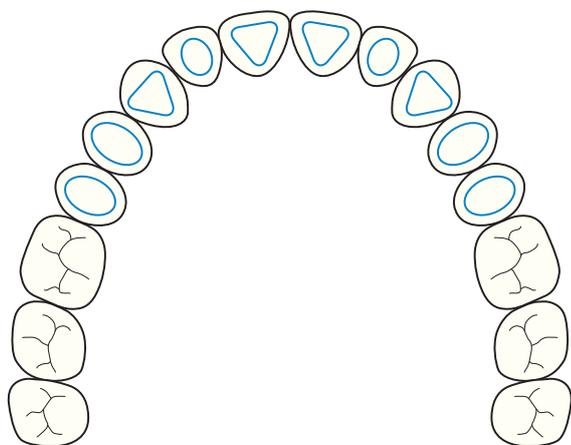
エマージェンスプロファイルの最適形状を得るためにカスタマイズされたテンポラリーアパトメントとしてのエステティキャップ



臨床症例：MDT Renzo Casellini、
米国カリフォルニア州ロサンゼルス



エステティキャップ用スクリー付きフリアドेंट エステティキャップ、オーバルおよびトライアングル



フリアドेंट エステティキャップ

フリアドेंट エステティキャップは、審美的要求度の高い症例のために、カスタマイズ可能なテンポラリーレストレーションのオプションと軟組織の解剖学的形態を提供します。

- 審美的要求度の高いテンポラリークラウンおよびブリッジに使用
- 2種類の解剖学的プロファイルーオーバルおよびトライアングル
- 研削または築盛によるカスタマイズが可能
- セメント固定が可能
- 二酸化ジルコニウム添加物によるX線不透過性
- D 3.0インプラントには使用不可

エステティキャップは、PEEKと二酸化ジルコニウム添加物の特許取得済み化合物のため、X線不透過性を有し研磨が容易です。

別の術式



フリアデント エステティキャップの固定

インプラントを露出させたら、ヘックスドライバー 0.9mmを使用してフリアデント カバースクリューを緩めて取り外し、インプラントの内部形状を洗浄します。

ヘックスドライバー 0.9mmとプロステティックラチェット、またはコントラングルハンドピース0.9mm用ヘックスドライバーを備えたトルク制御付きコントラングルハンドピースを使用して、エステティキャップを14Ncmでスクリュー固定します。

テンポラリーレストレーションとしてのフリアデント エステティキャップ

フリアデント エステティキャップのテンポラリーレストレーションは、セメント固定するか、または直接築盛できます。

補綴物は仮着用セメントでセメント固定されます。クラウン辺縁部から余剰セメントを完全に除去してください。

既存のテンポラリーレストレーションは、エステティキャップに圧力がかからないように削合してから装着するようにします。

インプラントの最終補綴物は、インプラント周囲軟組織が治癒し、炎症が消失してからでなければ装着できません。

ジンジバルフォーマーとしてのフリアデント エステティキャップ

テンションがかからないように軟組織をエステティキャップの周囲に適合させてから、しっかり縫合します。

フリアデント エステティキャップをジンジバルフォーマーとして使用する場合は、アバットメントを対応する粘膜高さまで削合しなければなりません。

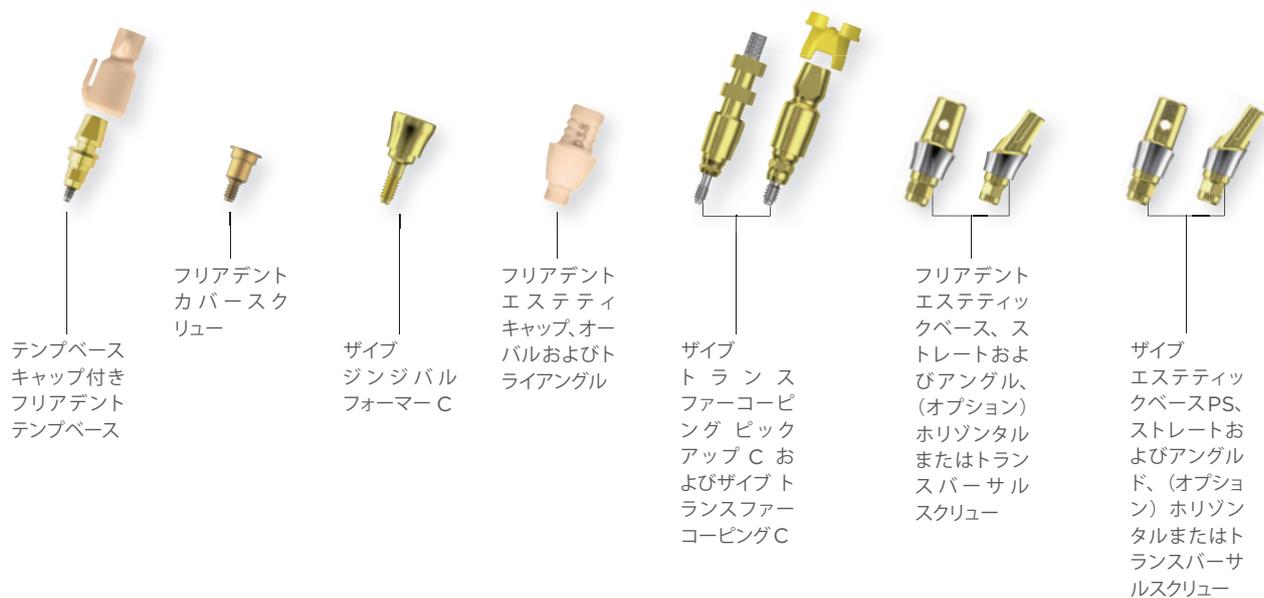
エステティキャップをカスタマイズされたジンジバルフォーマーとして使用すると、エマージェンスプロファイルの最適な解剖学的形態が得られます。

ザイブ補綴物

フリアドेंट/ザイブ補綴の基本

広範囲に及ぶ既製および患者固有のアバットメントにより、想定されるほぼすべての症例に対応可能な即時修復を含む汎用性の高い補綴オプションが、インプラントレベルとアバットメントレベルの両方で提供されます。

セルフガイディング機能とカラーコードまたはレーザーマーク付きコンポーネントを備えるインターナルコネクションが、高い信頼性と高い作業効率をサポートします。





フリアドेंट スクリュードライバーの使用

HAND TIGHT



フリアドेंट
ヘックス
ドライバー
1.22mm

手指で締め付ける

14



フリアドेंट
ヘックス
ドライバー
0.9mm

14Ncm

ザイブ ジンジバルフォーマー C トランスファーコーピング ピックアップ C トランスファーコーピング C	フリアドेंट テンプベース	フリアドेंट カバースクリュー	フリアドेंट MP カバースクリュー	フリアドेंट ホ リゾンタルおよび トランスパーサル スクリュー
---	-------------------	---------------------	---------------------------	--

24



フリアドेंट ヘックスドライバー
1.22mm

24Ncm

フリアドेंट アバットメント スクリュー スタンダード エステティック ベース用フリアドेंट スクリュー	フリアドेंट MP ピックアップ ガイド ピン フリアドेंट ピックアップ ガイド ピン	キャスタブル スリーブ用 フリアドेंट MPスクリュー	フリアドेंट MP コーピング スクリュー	フリアドेंट アタッチメント スクリュー	アトランティス スクリュー
--	---	---------------------------------------	---------------------------	-----------------------------	------------------

24



MPインサート スクリュー用
フリアドेंट
シーティングインストルメント

24Ncm

30



プロステティックラチェット用
フリアドेंट
ロケーター インサート

30Ncm

 <p>フリアドेंट MP インサート スクリュー</p>	 <p>ザイブ ロケーター アバットメント</p>
---	---

ザイブ 補綴ナビゲーター

ザイブ インプラントシステムは、症例や補綴修復のタイプに応じて、作製と上部構造のためのさまざまなオプションを提供します。

アバットメントの種類が豊富なため、インプラントの治癒後またはインプラントの露出時点でも補綴処置に関する意思決定が可能です。そのため、各症例に最適な機能性および審美性を兼ね備えたソリューションを実現できます。

固定式ソリューション



セメント固定式

クラウン / 前歯部:

- フリアデント セルコンアバットメント
- フリアデント セラベースアバットメント
- フリアデント エステティックベースアバットメント

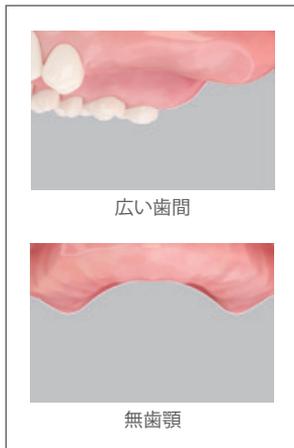
クラウン / 前歯部および臼歯部:

- フリアデント エステティックベースアバットメント
- フリアデント オーロベースアバットメント
- アトランティスアバットメント

スクリュー固定式

クラウン / 前歯部および臼歯部:

- フリアデント エステティックベースアバットメント (水平/トランスバーサル)
- フリアデント オーロベースアバットメント (水平/オクルーザル)
- アトランティスクラウンアバットメント



ブリッジ / 前歯部および臼歯部、および無歯顎症例:

- フリアデント エステティックベースアバットメント
- フリアデント オーロベースアバットメント
- アトランティスアバットメント

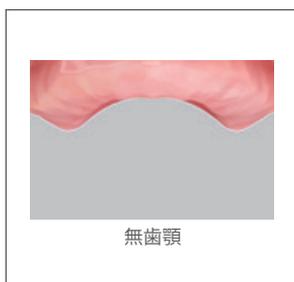
ブリッジ / 臼歯部領域および無歯顎症例:

- フリアデント MP アバットメント

ブリッジ / 前歯部および臼歯部、および無歯顎症例:

- フリアデント エステティックベースアバットメント (水平/トランスバーサル)
- フリアデント オーロベースアバットメント (水平)
- フリアデント MPアバットメント / SmartFix コンセプト:
- フリアデント キャスタブル/キャストウー ワックスアップスリーブ
- アトランティス ブリッジ/ハイブリッド

可撤式ソリューション



- ザイブ ロケーター
- フリアデント ボールアタッチメント
- フリアデント テレスコープアバットメント
- フリアデント オーロベースアバットメント
- フリアデント MPアバットメント
- アトランティス バーを用いたフリアデント MPアバットメント
- アトランティス コーヌスアバットメント

個々の症例に最適な補綴処置を選択するための詳細な手順は、以降のページに記載されています。

単独歯修復のソリューション



セメント固定式

前歯部および臼歯部



フリアドेंट エステティックベース/フリアドेंट オーロベース

既製品の水平スクリューまたはトランスバーサルスクリュー用のスクリューアクセスホールのあるフリアドेंट エステティックベースアバットメントは、カスタマイズが可能で、ショルダーの輪郭が解剖学的に作製されており、さまざまな粘膜高さに対応しています。

フリアドेंट オーロベースアバットメントは、個々のクラウンアバットメントやセメント固定または個別にスクリュー固定するクラウンを作製する土台となります。

使用手順については、50、56ページを参照してください。



フリアドेंट セルコン*アバットメント/フリアドेंट セラベース*

セルコン二酸化ジルコニウムセラミック製アバットメントでの補綴は、前歯部に卓越した審美性をもたらすと同時に、極めて高い安定性が得られる点でも優れています。

アバットメントはカスタマイズ可能で、汎用性の高いデザインが用意されています。生体適合に優れた材質のための2種類の白色シェードにより、セメント固定式クラウンが最高のレベルで統合されます。

* 前歯部のみ

使用手順については、53、55ページを参照してください。



患者固有のアトランティスアバットメント

アトランティス アバットメントは、前歯部と臼歯部における患者固有のセメント固定式（アトランティス アバットメント）および単独歯のスクリュー固定式（アトランティス クラウンアバットメント）の修復を可能にし、機能面と審美面の両方において優れた結果を得るための究極のベースとなります。

使用手順については、60ページを参照してください。



スクリュー固定式

前歯部および臼歯部



フリーデント エステティックベース (水平/トランス バーサル)

既製品の水平スクリューまたはトランスバーサルスクリュー用のスクリューアクセスホールのあるフリーデント エステティックベースアバットメントは、カスタマイズが可能で、ショルダーの輪郭が解剖学的に作製されており、さまざまな粘膜高さに対応しています。

このアバットメントを使用して、セメント固定式の単独クラウンとラテラルスクリュー固定する単独クラウンの両方を作製できます。

使用手順については、**50ページ**を参照してください。

フリーデント オーロベース

フリーデント オーロベースアバットメントは、個々のクラウンアバットメントやセメント固定または個別にスクリュー固定するクラウンを作製する土台となります。

成型可能なプラスチック製シリンドラーにより、アバットメントデザインにおいてほぼ無制限の個性が得られます。

使用手順については、**56ページ**を参照してください。

患者固有の アトランティス クラウン アバットメント

アトランティス クラウンアバットメントは、ポーセレンまたはコンポジットレジンアバットメントへ直接築盛する単独歯のスクリュー固定式修復のための従来の鑄造アバットメントに代わる、効率的、効果的かつ審美的なクラウンアバットメントです。

アトランティス クラウンアバットメントは、トランスルーセントのオプションを含む5種類のシェードのジルコニアに加えて、チタンも選択できます。

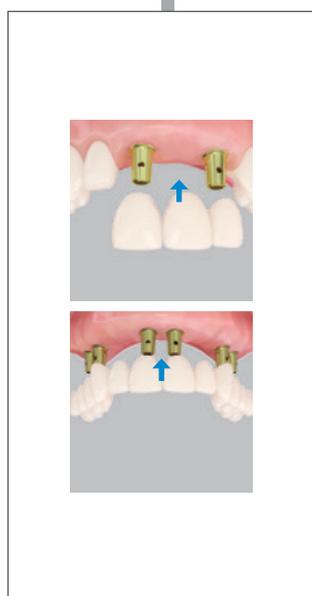
使用手順については、**61ページ**を参照してください。

広範囲な欠損および無歯顎向けの 固定式ソリューション



セメント固定式補綴物

前歯部および臼歯部

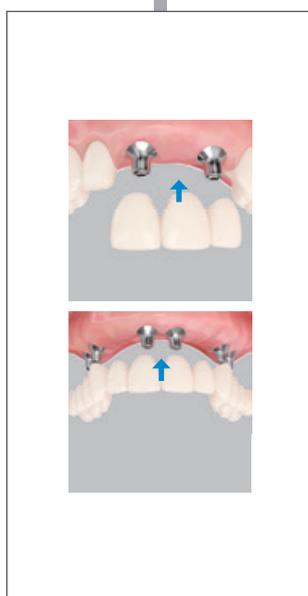


フリアデント エステティックベース

フリアデント エステティックベースは、水平およびトランスバーサル スクリュー用のホールを加工済みのアバットメントは、カスタマイズが可能です。

ショルダーが解剖学的に輪郭形成されており、さまざまな粘膜高さで利用可能です。これらのアバットメントを使用して、セメント固定式のブリッジとラテラルスクリュー固定式のブリッジの両方に適用できます。

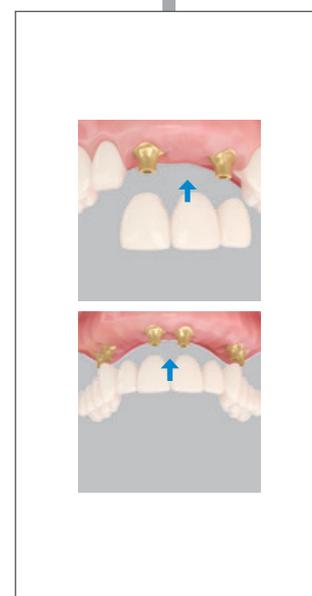
使用手順については、50ページを参照してください。



フリアデント オーロベース

フリアデント オーロベースは、並行関係が悪いあるいは咬合面間クリアランスが小さいなどの専用の問題がある症例で、ブリッジの技法を使用してカスタマイズされたアバットメントを作製するために使用できます。オーロベースのブリッジ構造は、セメント固定式またはラテラルスクリュー固定式補綴物として作製できます。

使用手順については、56ページを参照してください。



患者固有のアトランティスアバットメント

患者固有のアトランティスアバットメントは、既製アバットメントに代わるものとして理想的です。

アトランティスアバットメントは、前歯部と臼歯部においてセメント固定式ブリッジの補綴物を支持し、機能面と審美面の両方において優れた結果を得るための究極のベースとなります。

使用手順については、60ページを参照してください。



スクリュー固定式補綴物

前歯部および臼歯部

スマートフィックス コンセプト



フリーアデント エスティックベース/ フリーアデント オーロベース

フリーアデント エスティックベース アバットメントは、水平およびトランスバーサルスクリューで複数のインプラントに固定される、ブリッジによる修復物の作製に使用できます。

フリーアデント オーロベースは、ブリッジの技法を用いてカスタマイズされるアバットメントを作製するために、困難な症例で使用されます。

使用手順については、50、56ページを参照してください。



ザイブ/フリーアデント MPアバットメント

フリーアデント MPアバットメントは、複数歯インプラントによる修復のためのスクリュー固定式ブリッジフレームワークの作製に使用されます。

キャストおよびキャストトウのフリーアデント ワックスアップスリーブは、ザイブ/フリーアデント MPアバットメント上でスクリュー固定するブリッジの作製に使用されます。

使用手順については、67、72ページを参照してください。



アトランティス ブリッジ/ ハイブリッドを使用したザイブ/ フリーアデント MPアバットメント

アトランティス インプラント上部構造は、診断用歯牙セットアップのスキャンを使用してデジタルでデザインされます。

アトランティス ブリッジは、セラミックまたはレジンの築盛に対応しています。

使用手順については、74ページを参照してください。

無歯顎向けの可撤式ソリューション



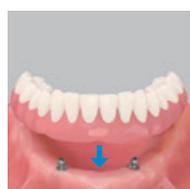
可撤式オーバーデンチャー



ザイブ ロケーター

ロケーターアバットメントは、長期安定性と使いやすさをもたらします。垂直高さが低いいため、ほとんどのオーバーデンチャーの患者にとって最適です。ロケーターの使用により、軸の誤差や限られた咬合空間を容易に修正できます。

使用手順については、80ページを参照してください。

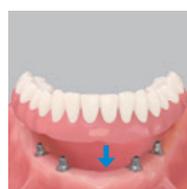


フリアドेंट ボールアタッチメント

フリアドेंट ボールアタッチメントは、下顎における高い口腔衛生状態の維持を可能とする経済的なオーバーデンチャー固定を可能にします。

補綴物はチェアサイドで作製されるか、または歯科技工所で製造されます。

使用手順については、84ページを参照してください。



フリアドेंट オーロベース

フリアドेंट オーロベースは、並行関係が悪いあるいは咬合面間クリアランスが小さいなどの専用の問題がある症例で、ブリッジの技法を使用してカスタマイズされたアバットメントを作製するために使用されます。オーロベースのブリッジ構造は、セメント固定式またはラテラルスクリュー固定式補綴物として作製できます。

使用手順については、56ページを参照してください。



フリアドेंट テレスコープアバットメント

フリアドेंट テレスコープアバットメントは、テレスコープまたはコニカルクラウンでオーバーデンチャーを固定するために使用されます。

チタン製のフリアドेंट テレスコープアバットメントは一次コンポーネントの典型で、並行関係が悪い場合でもカスタマイズされた作製が可能です。

使用手順については、86ページを参照してください。

SmartFixコンセプト

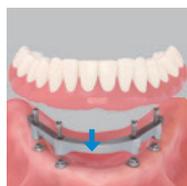


フリアドेंट MPアバットメント/バー

フリアドेंट バーコーピングを MPアバットメントと組み合わせて使用すると、バー構造を作製できます。

ロウ着とレーザー溶接の両方に対応した既製のコンポーネントとして提供されます。

使用手順については、**90ページ**を参照してください。



フリアドेंट MPアバットメント/ アトランティス バー

患者固有のアトランティスバー支持による修復により、可撤式のインプラント支持によるCAD/CAM補綴物の、極めて高精度なテンションフリーの固定が得られます。

使用手順については、**92ページ**を参照してください。

アトランティス コーヌス コンセプト



アトランティス コーヌスコンセプト

アトランティス コーヌスコンセプトは、固定式ブリッジの快適性を備えた高コスト効率、摩擦固定式、非弾性、かつ可撤式のオーバーデンチャーを作製するための独自のインプラント支持によるソリューションで、患者に新たな快適性と信頼性をもたらします。

使用手順については、**94ページ**を参照してください。

印象採得

インストゥルメントセット/ 補綴用トレイ

治療が途切れなく進むように、すべてのインストゥルメントが分かりやすく配置および固定されています。

ザイブ 補綴用トレイには、0.9mmおよび1.22mm（ショートおよびロング）のハンドピース ヘックスドライバー（14Ncmによるヘックス0.9mm、24Ncmによるヘックス1.22mm）の手指およびラチェット固定用トルク制御付きスクリュードライバーが含まれています。さらに、MPスクリューおよびフリアデント ボールアタッチメントを手指またはラチェットで締め付けるためのインストゥルメントもトレイに含まれています。

すべての手指用スクリュードライバーと同様に、トルク制御はスクリュードライバーインサートのヘッドが備える専用の機構によって得られ、事前に設定されたトルクに達するとカチッという音がします。すべてのスクリュードライバーは、外科用ステンレス鋼製です。

フリアデント プロステティックミニキット

フリアデント プロステティックミニキットには、インプラントの補綴修復に必要なすべてのインストゥルメントが含まれています（MPアバットメント シーティングインストゥルメントは含まれません）。

- | | | |
|--|---|--|
| <p>コントラアングル ハンドピース用フリアデント ヘックスドライバー</p> <p>1 ショート、1.22mm
2 ロング、1.22mm
3 ショート、0.9mm
4 ロング、0.9mm</p> <p>5 MPインサート スクリュー
コントラアングル ハンドピース用フリアデント シーティングインストゥルメント</p> <p>6 ハンドピース ヘックスドライバー用フリアデント ハンドル</p> | <p>ラチェット用フリアデント ヘックスドライバー</p> <p>7 ショート、1.22mm
8 ロング、1.22mm
9 ショート、0.9mm
10 ロング、0.9mm</p> <p>11 ラチェット用フリアデント シーティングインストゥルメント MPインサート スクリュー</p> <p>12 エステティックベース用フリアデント シーティングインストゥルメント</p> <p>13 フリアデント シーティングインストゥルメント</p> | <p>フリアデントセレクト アバットメント</p> <p>14 D 3.0/A 0 (ストレート)*
15 D 3.4/A 0 (ストレート)
16 D 3.8/A 0 (ストレート)
17 D 4.5/A 0 (ストレート)
18 D 5.5/A 0 (ストレート)
19 D 3.0/A 15 (アングル15°)*
20 D 3.4/A 15 (アングル15°)
21 D 3.8/A 15 (アングル15°)</p> <p>フリアデント ラチェット
22 インサートなし</p> |
|--|---|--|



印象採得用コンポーネント

ザイブ トランスファーコーピングC/ザイブ トランスファーコーピング ピックアップCは、垂直方向と水平方向のインプラント位置だけでなく、深い内部ヘックスの方向も正確に捉えます。すべてのジンジバルフォーマー Cに適しています。

オッセオインテグレーションと軟組織の輪郭形成の完了後、フリーアデント MPアバットメントのデザインにより、フリーアデント MPインサートやMPインサートスクリューを取り外すことなくアバットメントレベルの印象が得られます。



ザイブ トランスファーコーピングC、
ザイブ トランスファーキャップC



ザイブ トランスファーコーピング PS C



フリーアデント MPトランスファー印象コーピング/
アバットメントスクリュー スタンダード



ザイブ トランスファーコーピングアップC



ザイブ トランスファーコーピング
ピックアップ PS C



フリーアデント MPピックアップ印象コーピング/
MPピックアップ ガイドピン

インプラント レベルの印象採得

ザイブ トランスファーコーピングピックアップC (オープントレー技法) / ザイブ トランスファーコーピングC (クローズドレー技法)

- インプラントの位置をマスター模型に反映
- チタン合金
- 1.22ヘックスドライバー コネクション - 手指で締め付け
- カラーコード化
- ショートとロングを使用可能
- 片手でできる手順 - キャプティブスクリューによる安全な取り扱い
- ザイブ ジンジバルフォーマースリムC による軟組織輪郭形成後の印象にも対応

トランスファーコーピング ピックアップC ショートは、咬合面の高さに制限がある場合に使用します。ロングバージョンは維持力が強くなります。

トランスファーコーピングC ショート3mm までの粘膜高さに使用し、トランスファーコーピングC ロングは3mmを超える粘膜高さに使用します。

ザイブ トランスファーキャップC (クローズドレー技法)

- クリック機構付きトランスファーキャップC

並行で平坦な二面がアバットメントを安定させて、印象材とベース内でのアバットメントのねじれを防止します。

ザイブ トランスファーコーピングPSC/ザイブ トランスファーコーピングピックアップPS C

D 3.8からD 3.4に切り替えるためのプラットフォームスイッチングのコンポーネントには、PSのレーザーマークが付いています。

アバットメント レベルの印象採得

フリーアデント MP印象コーピング

- MPアバットメントの位置をマスター模型に反映
- ピックアップ法 (オープントレー) および再配置技法に使用可能
- 印象手順中は装着済みのMPアバットメントがインプラント内に維持される

装着済みMPアバットメントでのアバットメントレベルの正確な印象採得を可能にするために、カラーコード化されたフリーアデント MPトランスファー印象コーピングをD 3.4 ~ D 5.5mmのインプラント径に使用できます。

ステップバイステップ： インプラントレベルでのリポジション法、クローズトレー

ザイブ トランスファーコーピングCは、垂直方向と水平方向のインプラント位置だけでなく、内部ヘックスの方向も正確に捉えます。

ザイブ トランスファーコーピングCは、咬合面固定のためにキャプティブスクリューを備えています。



ザイブ ジンジバルフォーマー Cの 取り外し

ヘックスドライバー 1.22mmを使用して
ジンジバルフォーマーを緩めます。

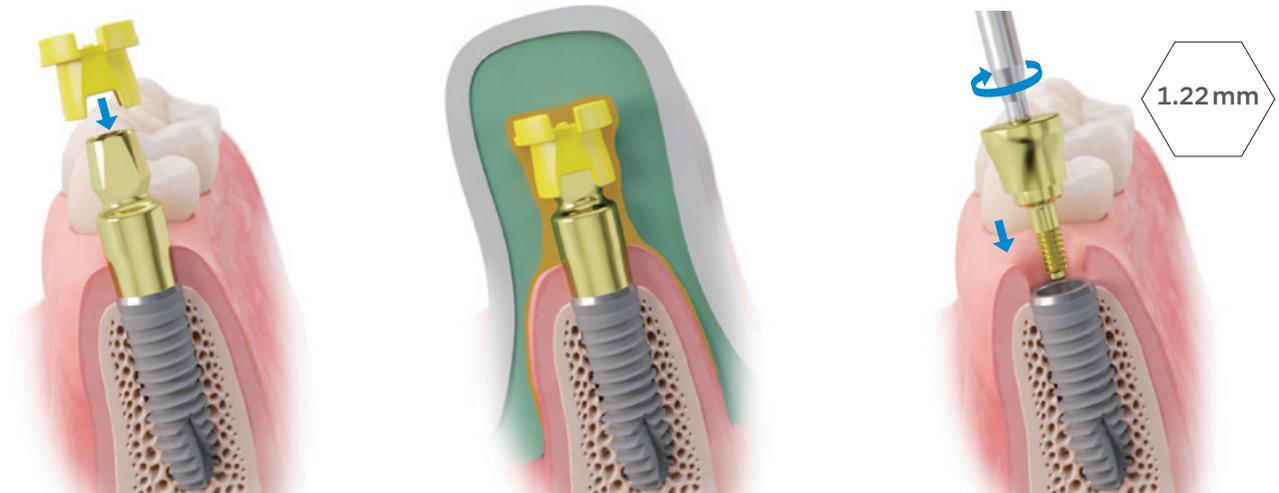
ザイブ トランスファーコーピングCの 固定

インプラントの位置に応じて、ザイブ トランス
ファーコーピングCをインプラントのヘッ
クス内に配置します。トランスファーコー
ピングは、ヘックスコネクションの6方向に唯
一かつ正確な位置へ簡単に配置できます。

トランスファーコーピングの適合を確認しま
す。軟組織を挟まないようにして、トランス
ファーコーピングの周囲に密着させてくださ
い。

ザイブ トランスファーコーピングCの スクリュー固定

トランスファーコーピングCは、フリアデン
ト ヘックスドライバー 1.22mmを使用して
キャプティブスクリューとともに手指で締め付
けます。



ザイブ トランスファーキャップ C の固定

ザイブ トランスファーキャップ C をトランスファーコーピングの上に押し込みます。

トランスファーコーピング C の平坦な面をトランスファーキャップ C の平坦な面に合わせます。クリック機構により、正しく固定されたことを確認できます。

印象採得

トランスファーコーピングの周りに印象材を流します。印象材を盛ったトレーを配置し、印象を採得します。印象材が硬化したらトレーを取り外します。トランスファーキャップ C は印象の中に残しておきます。

印象内に戻す前に、インプラントアナログをトランスファーコーピング C に接続します。トランスファーコーピング C を戻す際は、その平坦な面をトランスファーキャップ C の平坦な面に合わせてください。

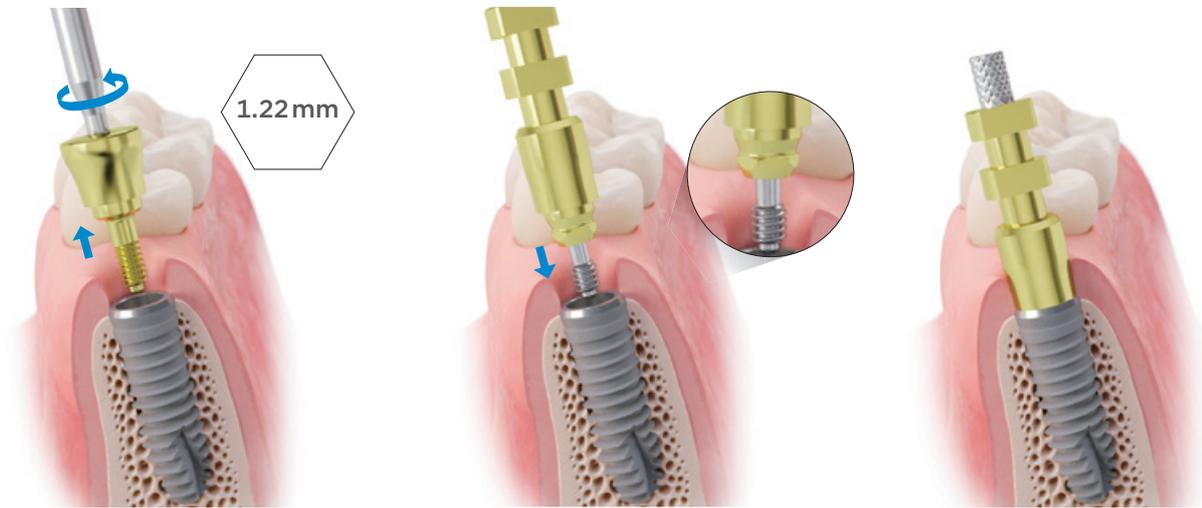
ジンジバルフォーマーの再装着

印象採得後に、ザイブ ジンジバルフォーマー C を再装着します。これで、インプラントショルダーの周囲組織が維持されます。

ステップバイステップ:インプラントレベルでの ピックアップ法、ザイブ トランスファーコーピング ピックアップC、オープントレー

ザイブ トランスファーコーピング ピックアップCは、垂直方向と水平方向のインプラント位置だけでなく、内部ヘックスの方向も正確に捉えます。
このデザインにより、平行関係の悪いインプラントでの印象手順も簡素化されます。

このアバットメントのヘックス部分はわずかに円錐形状を呈する縮小されたデザインのため、配置と再配置の簡便性が一層強化されます。深さのある特有の固定領域が、印象材の中での安定性と確実性に優れた固定をもたらします。



ザイブ ジンジバルフォーマー Cの 取り外し

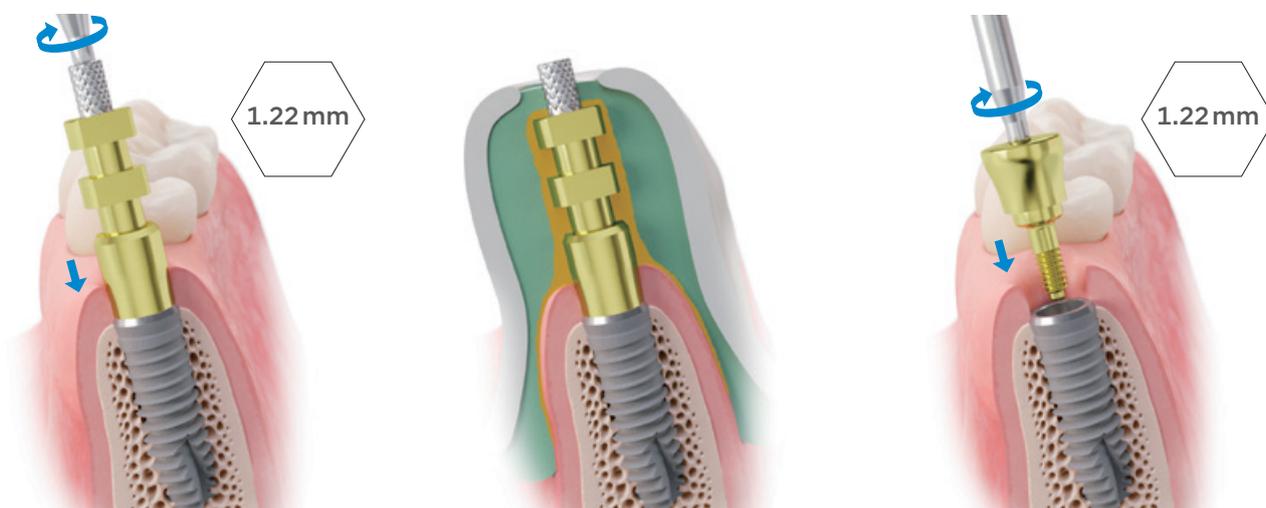
ヘックスドライバー 1.22mmを使用して
ジンジバルフォーマーを緩めます。

ザイブ トランスファーコーピング ピックアップCの固定

インプラントの位置に応じて、ザイブ トラン
スファーコーピング ピックアップCはヘック
スの形状による6方向に簡単かつ正確に配
置することができます。

ザイブ トランスファーコーピング ピックアップCの適合の確認

ザイブ トランスファーコーピングピックアッ
プCを適切に固定するには、軟組織を挟ま
ずに、軟組織の周囲に密着させる必要があ
ります。



ザイブ トランスファーコーピングピックアップCのスクリー固定

トランスファーコーピング ピックアップCは、フリアデント ヘックスドライバー 1.22mmを使用してキャプティブスクリーとともに手指で締め付けます。

印象採得

ピックアップスクリーを通すホールをトレーに開けます。トランスファーコーピングピックアップCの周りに印象材を流します。印象材を盛ったトレーを配置し、印象を採得します。

印象材が硬化したら、スクリーを緩めて印象を取り外します。トランスファーコーピングピックアップCは再配置せず、印象の中に残しておきます。

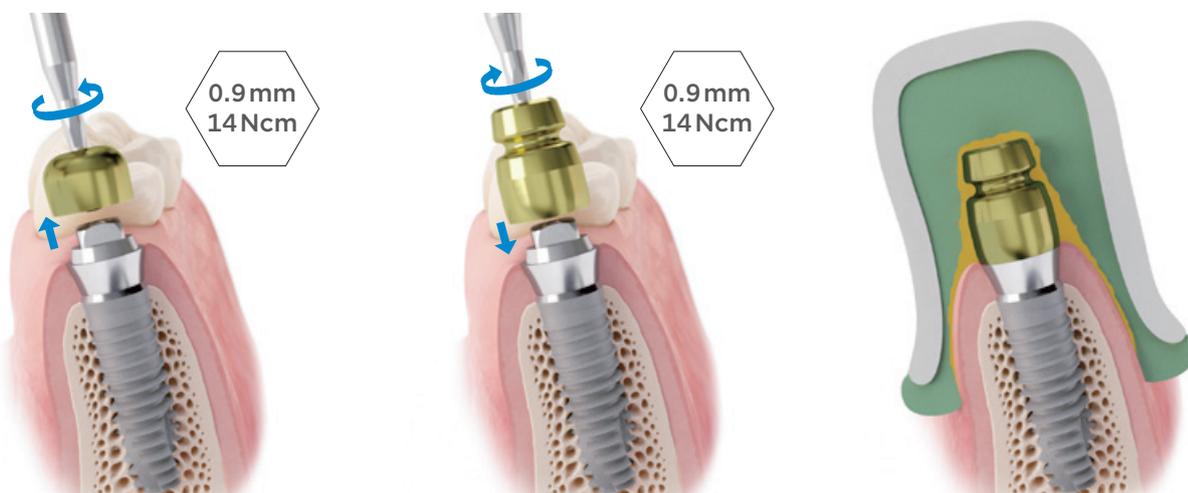
ザイブ ジンジバルフォーマーCの再装着

印象採得後に、ザイブ ジンジバルフォーマーCを再装着します。これにより、形成された軟組織エマーゼンスプロファイルが維持され、粘膜貫通部が保護されます。

ステップバイステップ： アバットメント レベルでのリポジション法、クローズトレー

臨床的状况を正確に模型に反映することは、テンションフリーで正確な適合を備えた補綴修復の前提条件です。

オッセオインテグレーションおよび軟組織の輪郭形成後、フリーアデント MPアバットメントを使用することで軟組織での印象採得を個々のアバットメントレベルで行うことができ、フリーアデント MPインサートやMPインサートスクリーンを取り外す必要がありません。



フリーアデント MPカバースクリューの 取り外し

ヘックスドライバー 0.9mmを使用してフリーアデント MPカバースクリューを取り外します。印象採得を粘膜縁上で行うため、MPインサートおよびMPインサートスクリーンはインプラント内に残したままになります。

フリーアデント MPトランスファー印象 コーピングの挿入

ヘックスドライバー 0.9mmを使用して、フリーアデント MPトランスファー印象コーピングをMPアバットメントに固定します。

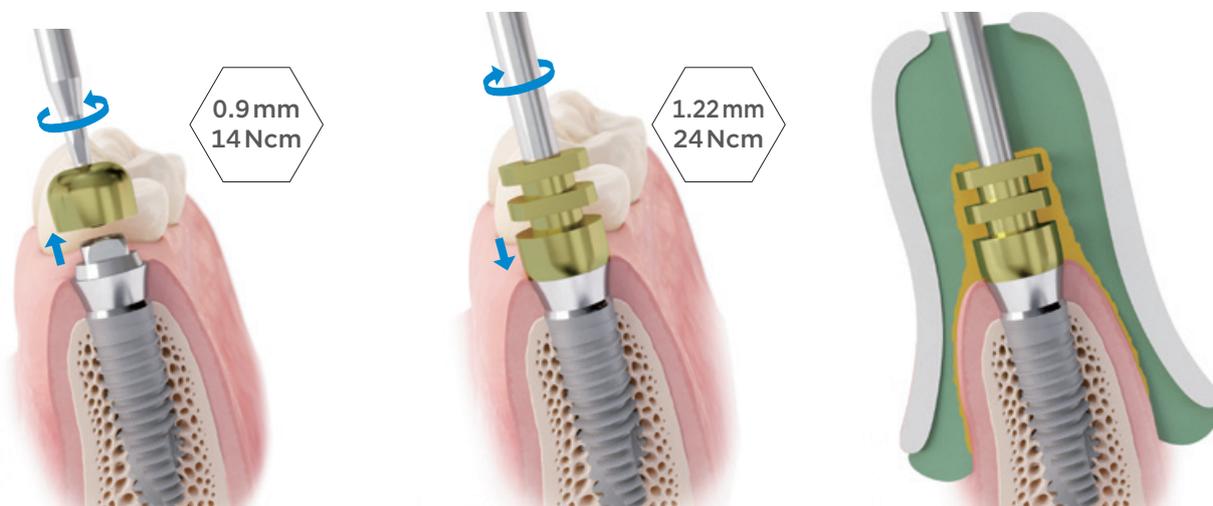
印象採得

印象採得を行う前に、印象材の侵入を防ぐため、ワックスを使用してスクリーンアクセスホールを塞ぎます。

トランスファーコーピングの周りに印象材を流します。印象材を盛ったトレーを配置し、印象を採得します。印象材が硬化したら、トレーを取り外します。

最終補綴物が届くまで、MPアバットメントに再度フリーアデント MPカバースクリューを装着します。

ステップバイステップ： アバットメント レベルでのピックアップ法、オープントレー



フリーアデント MPカバースクリューの 取り外し

ヘックスドライバー 0.9mmを使用してフリーアデント MPカバースクリューを取り外します。印象採得を粘膜縁上で行うため、MPインサートおよびMPインサートスクリューはインプラント内に残したままになります。

フリーアデント MPピックアップ印象 コーピングの挿入

フリーアデント MPピックアップ印象コーピングをMPアバットメントに装着し、ヘックスドライバー 1.22mmを使用してMPピックアップガイドピンと一緒に締めます。

印象採得

ピックアップガイドピンを通すホールをトレーに開けます。MPピックアップ印象コーピングの周りに印象材を流します。印象材を盛ったトレーを配置し、印象を採得します。

印象材が硬化したら、ピックアップガイドピンを緩め、トレーを取りはずします。MPピックアップ印象コーピングは印象内に残されたままとなります。最終補綴物が届くまで、MPアバットメントに再度フリーアデント MPカバースクリューを装着します。

ステップバイステップ： CAD/CAM 修復物用の印象

歯科技工所で作製される臨床的状況を再現した正確な模型は、インプラント上部構造の正確な適合において重要となります。

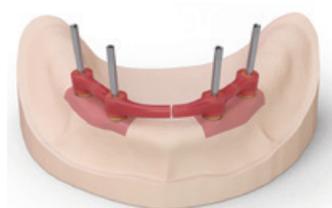
以下に示す手順に含まれるいくつかの治療手順は、歯科技工所との密接な連携の下で行われます。

インプラント上部構造： 患者固有のブリッジおよび バー支持式義歯

ザイプの患者固有のインプラント上部構造は常にアバットメントレベルで作製され、咬合面スクリューで固定されます。

1回法/直接法の補綴手順では、MPアバットメントは患者の口腔内に残したままになります。2回法/間接法での補綴治療を使用する場合は、粘膜高さに対応したMPアバットメントが歯科技工所で選択されます。これは、最終補綴修復とともに患者に装着されます。

インプラント上部構造は、チタンおよびコバルトクロムで作製可能です。



最初の来院時： 作業用模型のための印象採得

ジンジバルフォーマーを取り外し、フリーアデント MPアバットメントを使用する場合ピックアップ印象コーピングによるピックアップ法を使用して印象を採得します（39ページを参照）。

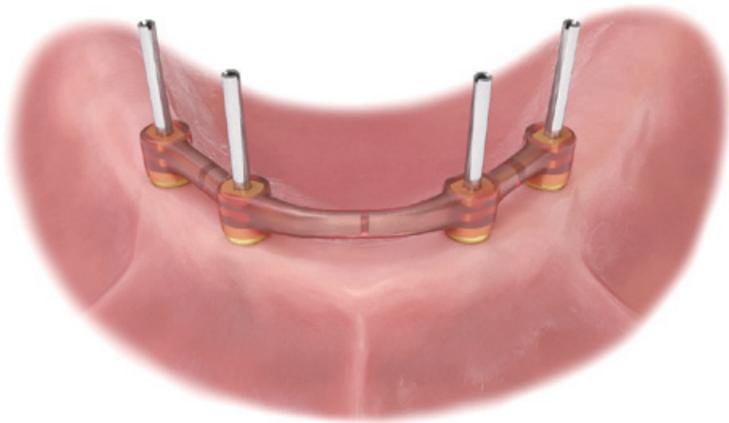
フリーアデント MPアバットメントを使用している場合は、次の段階までフリーアデント MPカバースクリューを被せて塞ぎます。使用していない場合は、対応するジンジバルフォーマーでアバットメントを再配置します（15ページを参照）。

歯科技工所に印象を送付します。

歯科技工所内：作業用模型、個人トレーおよびインデックスコーピングの作製

印象から作業用模型を作製します。この模型に基づいてピックアップ法用にカスタマイズしたトレーを作製します。トレーを作製する際は、印象材のための十分なスペースがあることを確認します。

インデックスコーピングの作製にはフリーアデント MP印象コーピングを使用します。常温重合レジン連結を個々のセグメントに分け、口腔内で連結固定し、印象採得するために歯科医師に送付します。



**2回目の来院時：
インデックスコーピングの口腔内
連結固定**

ジンジバルフォーマーを取り外し、必要に応じてフリアデント MP印象コーピングを挿入します。インデックスコーピングの個々のセグメントをそれぞれに対応したアバットメントスクリューを使用してMP印象コーピングに連結します。個々のセグメント間に十分なスペースがあることを確認します。接触する場合はトリミングします。

歯科技工所で使用されるものと同じ常温重合レジンを用いたテンションフリーのセグメントを口腔内で連結します。

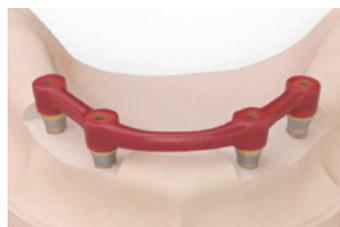
連結の印象

印象材（アクアジルウルトラ、デンツプライシロナ社など）およびカスタマイズされたトレーを使用して、連結された状態で印象採得を行います。印象材が硬化したら、アバットメントスクリューおよびトレーを取り外します。

この最終印象および固定キャップを模型の作製のために歯科技工所に送付します。

ステップバイステップ： CAD/CAM 修復物用の印象

歯科技工所は2回目の印象から模型および口腔内で連結固定された状況のワックスアップを作製します。



歯科技工所内： ワックスアップおよびトランスファー キーの準備

模型が完成したら、歯冠形態を復元したワックスアップを作製します。

模型と臨床状況とでインプラントの位置を比較できるように、常温重合レジンから2つ目のトランスファーキーを作製します。歯科技工所でキーを連結します。

試適のため、コンポーネントを歯科医師に送付します。

3回目の来院時： ワックスアップの試適

歯科技工所で機能および審美の両面において歯冠形態を復元したワックスアップの試適を行います。必要に応じて修正します。



シェフィールド検査

常温重合レジントランスファーキーをインプラントに取り付けます。固定スクリューを使用してトランスファーキーのテンションフリーの適合を確認します。確認の際は、片方ずつ順番に締めます（右側の「シェフィールド検査」を参照）。

シェフィールド検査

シェフィールド検査により、インプラント上の固定された中間構造体の適合を簡単に確認することができます。中間構造体を装着後、それぞれのスクリューを固定しますが、一つのスクリューを締める際、その他のスクリューは締めない状態にします。このため、中間構造体は一度に1つのインプラントにのみ固定されます。



フレームワークがテンションフリーの場合、1つのスクリューを締めると中間構造体がすべてのインプラント上に乗ります。



中間構造体がテンションフリーでない場合、インプラントとスクリューで固定されていない中間構造体の一部に隙間が形成されず。

ザイブ インプラントによる修復

単独歯のクラウン

インプラント支持による単独クラウンでの単独欠損歯の修復向けに、ザイブ インプラントシステムでは、各種既製品および患者固有の補綴オプションを広く提供しています。

これらを使用することで自然な審美性を備えた修復を作製し、インプラント周囲の硬組織および軟組織の長期的なメンテナンスを行うことができます。



フリアドेंट エステティックベースによる修復

既製品の水平スクリューまたはトランスバーサルスクリュー用のスクリューアクセスホールのあるフリアドेंट エステティックベースアバットメントは、カスタマイズが可能で、ショルダーの輪郭が解剖学的に作製されており、さまざまな粘膜高さに対応しています。このアバットメントを使用して、セメント固定式の単独クラウンとラテラルスクリュー固定する単独クラウンの両方を作製できます。

フリアドेंट セルコンによる修復

フリアドेंट セルコンアバットメントにより、あらゆるセラミック修復物で前歯部における最高の審美需要に応えることが可能になります。

セルコンアバットメント上でのオールセラミックの単独歯修復の場合は、必ずセメント固定式にする必要があります。

フリアドेंट オーロベースによる修復

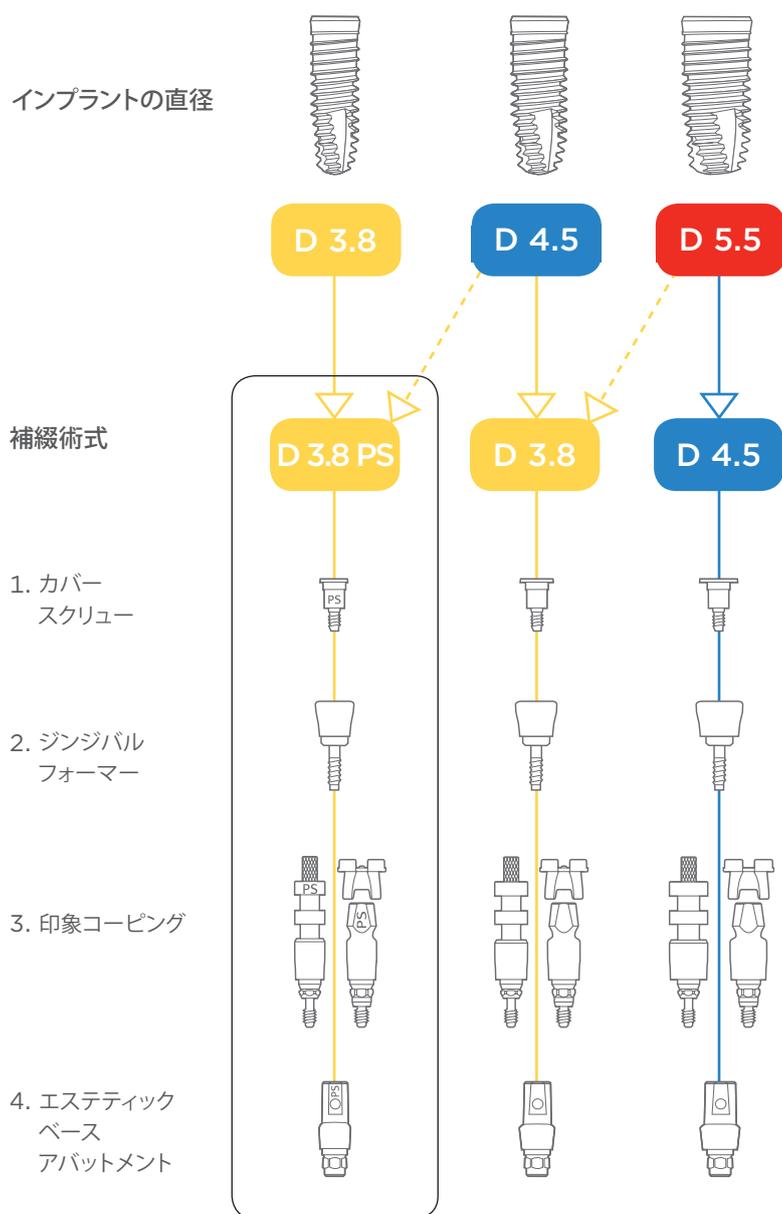
フリアドेंट オーロベースアバットメントは、個々のクラウンアバットメントやセメント固定または個別にスクリュー固定するクラウンを作製する土台となります。成型可能なプラスチック製シリンダーにより、アバットメントデザインにおいてほぼ無制限の個性が得られます。



患者固別のアトランティス アバットメントによる修復

アトランティス アバットメントを使用することで、前歯部と臼歯部における患者固有のセメント固定式（アトランティス アバットメント）修復および単独歯スクリュー固定式（アトランティス クラウンアバットメント）修復が可能になります。これは、機能面と審美面の両方において優れた結果を得るための究極のベースであるということです。

ステップバイステップ: ザイブ プラットフォームスイッチコンセプト



例: D 3.8インプラント用の専用のPS補綴コンポーネントの使用



テンプレースの取り外し/粘膜下治癒

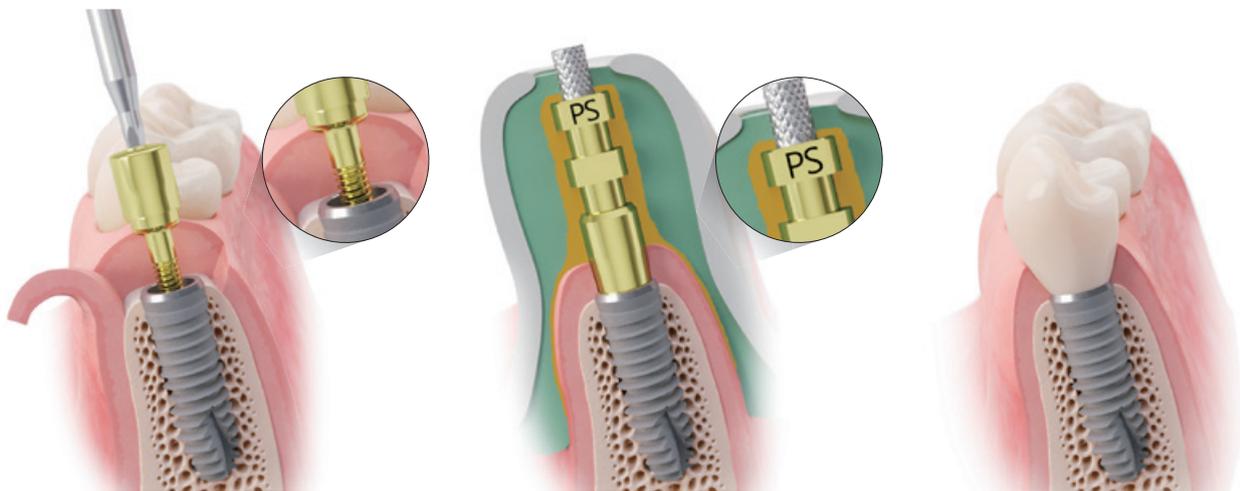
ザイブ インプラントは必ず、対応する直径のフリアデント テンプレースとともに提供されます。粘膜下治癒を予定している場合は、ヘックススクロッドドライバー 0.9mmでテンプレースの固定スクロッドを緩め、取り外します。次にザイブ カバースクリュー PS D 3.8を被せ、最大14Ncmで締め付け創面を塞ぎます。

この手順は、D 4.5およびD 5.5インプラント直径にも適用可能です。より小さい直径の適切なアバットメントのそれぞれの使用方法に従ってください。

プラットフォームスイッチングによる軟組織の獲得

ザイブ プラットフォームスイッチングを使用した修復を成功させるには、小さい直径で最終アバットメントを使用することだけでなく、直径を小さくしたカバースクリューから始め、適切な補綴コンポーネントへと進めることが重要です。

プラットフォームスイッチングコンセプトは軟組織量を増やすように設計されています。軟組織が増えると、長期的な審美結果が得られます。



ザイブ ジンジバルフォーマー PS C (スリム) の配置

粘膜貫通治癒の場合は、軟組織の厚みに対応したザイブ ジンジバルフォーマー PS C (スリム) を配置して、1.22mmのヘックスドライバーを使用して手指で締めます。

ピックアップ法を使用した印象採得

インプラント位置の正確な反映は、専用のPSコンポーネントを使用することで実現できます。ピックアップ法の場合は、ザイブ トランスファーコーピング ピックアップPS Cを使用します。クローズトレー法では、ザイブ トランスファーコーピングPS Cを使用できます。

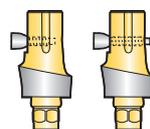
最終補綴物

最終補綴での場合は、ジンジバルフォーマー又はテンポラリーアバットメントをはずし、歯科技工所で作製された最終のアバットメントおよびクラウンを装着します。

フリアドント エステティックベース



Dr. Marco Degidi、ボローニャ、イタリア



水平スクリューおよび
トランスバーサル スクリュー

フリアドント エステティックベース アバットメント

フリアドント エステティックベースアバットメントは、水平スクリューまたはトランスバーサルスクリュー固定またはセメント固定する単独クラウンの作製に使用されます。

クラウンアバットメントは、インプラントの輪郭と修復の解剖学的形態の間の移行部としても機能するため、歯間の形状に影響をおよぼします。

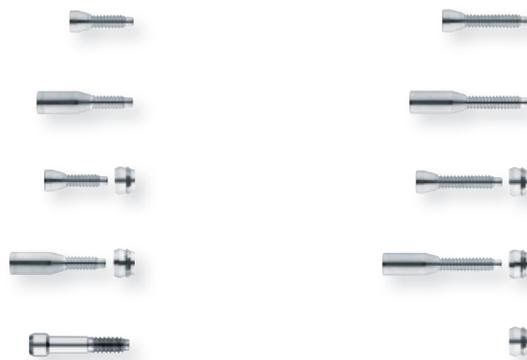
既製のフリアドント エステティックベースアバットメントはチタン製で、インプラント直径D 3.0～D 5.5に対応しています。研削によりカスタマイズが可能です。



ザイブ エステティックベース PS ストレート (左) およびフリーアデント
エステティックベース ストレート



ザイブ エステティックベース PS アングルド (左) およびフリーアデント
エステティックベースアングルド



フリーアデント ホリゾンタルおよびトランス
パーサルスクリュー スタンダード、エステ
ティックベース用フリーアデント スクリュー

フリーアデント ホリゾンタルおよびトランス
パーサル スクリュー ロング、フリーア
デント ホリゾンタル スクリューシート

ホリゾンタルスクリュー

フリーアデント エステティックベースアバットメントには、インプラントの軸に対して、0° (ストレート) のものと15° (アングルド) のものがあります。アバットメントはグレード2チタン製とチタン合金製 (Ti6Al4Vグレード5) があります。

インプラント接合部の上では、解剖学的形状を付与した粘膜の高さ (1、2、3、5mm) の形成マージンがアバットメントを囲んでいます。

- アバットメント口蓋 / 舌側からのクラウン固定
- 長さは “スタンダード” または “ロング” を利用可能
- ホリゾンタルスクリューリングあり / なしを選択可。ホリゾンタルスクリューリングは、金の含有率が高い貴金属合金を成型するために歯科技工所で使用されるものです。
- フリーアデント ヘックスドライバー 0.9mm / 14Ncm で固定
- チタン合金グレード5、Ti6Al4Vで作製

トランスパーサルスクリュー

- 口蓋 / 舌側壁と口腔前庭側アバットメントの両方でクラウンを固定
- 2倍のネジ部長さによる最適な安定性
- D 3.0およびD 3.4では、ホリゾンタルスクリューをトランスパーサルスクリューとして使用
- フリーアデント ヘックスドライバー 0.9mm / 14Ncm で固定
- チタン合金グレード5、Ti6Al4Vで作製

ステップバイステップ： フリーアデント エステティックベースアバットメント

フリーアデント エステティックベースアバットメントでは、セメント固定のクラウンとラテラルスクリュー固定クラウンおよびブリッジの両方の作製が可能です。



ザイブ ジンジバルフォーマー C の 取り外し

ヘックスドライバー 1.22mmを使用してジンジバルフォーマーを緩めます。

エステティックベースアバットメントの 配置

模型で決めたインデックス位置に基づいてインプラントにエステティックベースアバットメントを装着します。エステティックベースはアバットメントスクリューとともに、プロステティックラチェットとフリーアデントラチェットヘックスドライバー 1.22mmまたはそれぞれのドライバーインサートを備えたトルク制御付きコントラアングル ハンドピースを使用して、24Ncmで締め付けます。

上部構造の装着

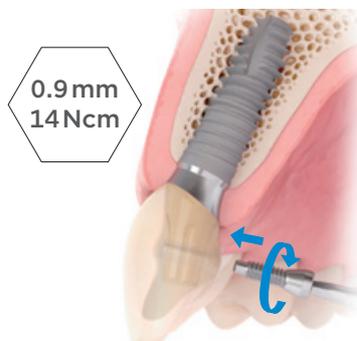
アバットメント上のクラウンの適合を確認します。上部構造を洗浄し、消毒します。上部構造は、セメント固定や、水平スクリュー固定またはトランスバーサルスクリュー固定が可能です。

ブリッジ構造の作製については、単独歯クラウンの場合と同じ手順が使用されます。エステティックベースアバットメント上のブリッジ構造はセメント固定またはスクリュー固定が可能です。



別の術式

別の術式



上部構造のセメント固定

セメント固定にはリン酸亜鉛セメントを使用できます。その際は、クラウン辺縁部の余剰セメントを完全に除去するように注意します。仮着用セメントでセメント固定する場合は、アバットメントの上3分の2を粗面化する必要があります。

上部構造の横方向のスクリー固定

水平スクリー固定では、上部構造は口蓋／舌側のアバットメントに固定されます。水平スクリーに使用できる長さは、スタンダードまたはロングです。

水平スクリーはフリーアデントヘックスドライバー 0.9mmを使用して推奨トルクの14Ncmで締め付けます。

上部構造の横方向に横断するスクリー固定

トランスバーサルスクリー固定では、上部構造は口蓋／舌側と口腔前庭側両方のアバットメントに固定されます。トランスバーサルスクリーのネジ部は、最適な安定性が得られるように長さが2倍あります。D 3.0およびD 3.4では、水平スクリーをトランスバーサルスクリーとして使用します。

大臼歯の場合は通常、クラウンの輪郭がより大きくなるため、ヘッド部が長いトランスバーサルスクリーを使用することが推奨されます。トランスバーサルスクリーはフリーアデントヘックスドライバー 0.9mmを使用して推奨トルクの14Ncmで締め付けます。

フリアドेंट セルコン

フリアドेंट セルコンアバットメントにより、あらゆるセラミック修復物で前歯部における審美需要に応えることが可能になります。きらめく輝きにより優れた審美性を実現します。二酸化ジルコニウムセラミック製のセルコンアバットメントは、安定性に優れています。ストレートとアングルドの両方のタ

イプを利用いただけます。フリアドेंट セルコンアバットメントは、研削または焼き付けによりカスタマイズ可能です。2つのシェードが用意されています。



Dr. Marco Degidi、ポローニャ、イタリア



すべてのセラミック製アバットメント

粘膜高さが2.0mm未満である場合、既製のセルコンまたはセラベースのセラミック製アバットメントが審美ソリューションとなります。

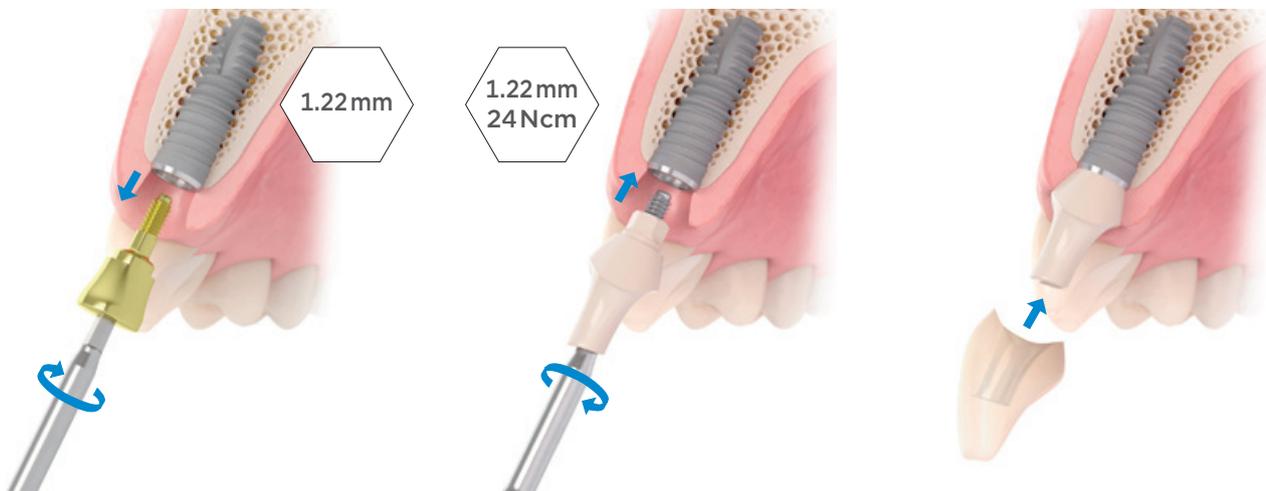
フリアドेंट セルコンアバットメント

- 二酸化ジルコニウム製の1ピースの既製品であるため、極めて安定性が高い
- 直径 D 3.8およびD 4.5を利用可能
- 粘膜高さはGH 1およびGH 2
- 角度は0° (ストレート) ~ 15° (アングルド) に対応

- ナチュラルまたはデンチンを利用可能
- 冷却注水を用いた研削が可能
- 締め付けにはフリアドेंट ヘックスドライバー 1.22mm/24Ncmを使用。

セラミック製クラウンまたはセラミックショルダーを使用したクラウンは、いかなる場合もセメント固定式を用いる必要があります。セラミック製アバットメントの適応は前歯部限定となります。

ステップバイステップ： フリーアデント セルコンアバットメント



ザイブ ジンジバルフォーマー C の 取り外し

ヘックスドライバー 1.22mmを使用してジ
ンジバルフォーマーを緩めます。

セルコンアバットメントの配置

模型で決めたインデックス位置と同じ位置の
インプラントにフリーアデント セルコンアバ
ットメントを装着します。セルコンアバットメン
トはアバットメントスクリューとともに、プロ
ステティックラチェットとフリーアデント ラ
チェットヘックスドライバー 1.22mmまた
はそれぞれのドライバーインサートを備えた
トルク制御付きコントラアングルハンドピー
スを使用して、24Ncmで締め付けます。

上部構造のセメント固定

アバットメント上のクラウンの適合を確認し
ます。上部構造を洗浄し、消毒します。セメ
ント固定にはリン酸亜鉛セメントを使用でき
ます。その際は、クラウン辺縁部の余剰セメ
ントを完全に除去するように注意します。

フリアドेंट セラベース

2ピースの既製のフリアドेंट セラベース セラミック製アバットメントは、審美的な修復に対するあらゆる需要を満たします。特に前歯部におけるオールセラミック修復で単独クラウンを作製可能です。



フリアドेंट セラベース

フリアドेंट セラベースを使用することで、上顎および下顎の前歯部の極めて高い審美性を備えた単独クラウンを支持できます。軟組織が非常に薄い症例に最適です。フリアドेंट セラベースは、ストレートアバットメント症例や、ややアングルドの症例に使用できます。

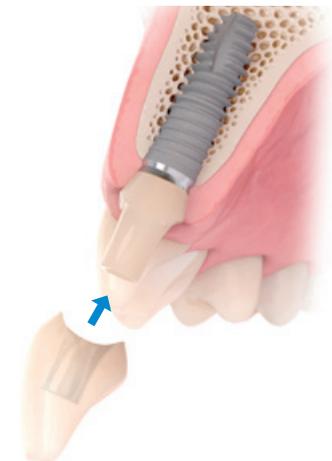
フリアドेंट セラベースアバットメントは、インプラント直径D 3.4～D 5.5mmに対応しており、チタン製のインサート部分とセラミック製のスリーブ部の2ピースで構成されています。アバットメントは、ワイド形状と解剖学的形状のいずれかを使用可能です。

既製のセラミックアバットメントにより、間接法または直接法の両方を使用して、審美性があり高品質なオールセラミックの単独クラウンを作製できます。

間接法の場合、オールセラミッククラウンをセメント固定する、歯冠色のアバットメントが歯科技工所でセラミックスリーブから作製されます。

セメント固定またはオクルーザルスクリュー固定の単独クラウンの場合の直接法では、歯科技工所はセラミック製スリーブを適切なセラミックに直接築盛し、それをチタン製のコアに接着します。

ステップバイステップ： フリーアデント セラベース アバットメント



歯科技工所の手順

セラミック製スリーブは、歯の解剖学的形状に基づいてカスタマイズされ、直接築盛されるか、オールセラミッククラウンの作製のために準備されます。

フリーアデント セラベース アバットメントの配置

模型で決めたインデックス位置と同じ位置のインプラントに、カスタマイズしたフリーアデント セラベースアバットメントを装着します。

フリーアデント セラベースはアバットメントスクリューとともに、プロステティックラチェットとフリーアデント ラチェットヘックスドライバー1.22mmまたはそれぞれのドライバーインサートを備えたトルク制御付きコントラアングルハンドピースを使用して、24Ncmで締め付けます。

最終補綴物の提供

アバットメント上のクラウンの適合を確認します。上部構造を洗浄し、消毒します。アバットメントスクリューの上部を封鎖し、フリーアデント セラベースの上にクラウンをセメント固定します。余剰セメントをすべて慎重に取り外します。

インプラントの軸の位置が正しい場合は、咬合面スクリュー固定修復でセラベース アバットメントに直接築盛することもできます。

この場合、ジンジバルフォーマーを取り外した後、最終クラウンはアバットメントスクリューとともに、プロステティックラチェットとフリーアデント ラチェットヘックスドライバー1.22mmまたはトルク制御付きコントラアングルハンドピースを使用して、24Ncmで締め付けます。

ステップバイステップ： フリーアデント オーロベースアバットメント

1ピース型のフリーアデント オーロベースアバットメントは、セメント固定またはスクリー固定する個々のクラウンアバットメントを作製する支台となります。既製の成型可能なアバットメントにより、アバットメントデザインにおいてほぼ無制限の個別性が得られます。



フリーアデント オーロベース D 3.0、アバットメントスクリー スタンダード D 3.0 (左) フリーアデント オーロベース D 3.4 ~ D 5.5、アバットメントスクリー スタンダード



フリーアデント オーロベース

フリーアデント オーロベースの特殊な適用としては、大幅な軸角度の開きの修正、咬合面からのスクリー固定式シングルクラウンの作製、テレスコープまたはコニカルクラウンの主要部分の作製があります。

- 対応するアバットメントスクリー付きで D 3.0 ~ D 5.5 が使用可能
- 高さ 14mm の POM 樹脂製ワックスアップスリーブ
- 既製 HSL ベースの鑄接可能な貴金属合金
- 深さ 3.4mm で、内部に六角形を有するインプラント アバットメント コネクションにより、アバットメントとインプラント間の回転防止機能を実現

ブリッジの場合も、シングルクラウンの場合と同じ手順が使用されます。

歯科技工所の手順

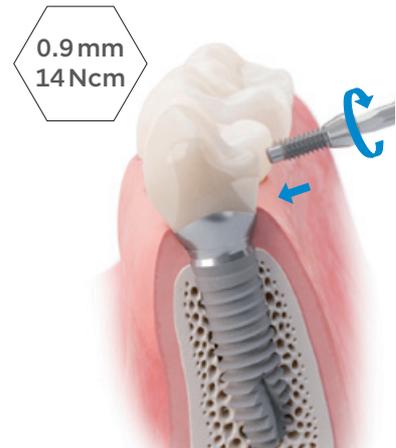
フリーアデント オーロベースを模型に配置し、解剖学的状況に従ってカスタマイズします。

クラウンフレームワークのワックスアップと、予定されている補綴修復に対応した個々の歯肉マージンの形成を行います（詳細については、使用説明書を参照してください）。

オーロベースアバットメントを加工する際は、作業用模型には通常のインプラントアナログではなく、フリーアデント ミリングインプラント（ミリング加工用レプリカ）を使用する必要があります。



別の術式



フリアドेंट オーロベース アバットメントの配置

模型上で決めたインデックス位置と同じ位置でそれぞれのインプラントにオーロベースアバットメントを装着します。オーロベースアバットメントはアバットメントスクリューとともに、プロステティックラチェットとフリアドेंट ラチェット用 ヘックスドライバー 1.22mm または ドライバーインサートをトルク制御付きコントラングルハンドピースに装着して、24Ncm で締め付けます。

上部構造のセメント固定

アバットメント上のクラウンの適合を確認します。上部構造を洗浄し、消毒します。

通常、セメント固定にはリン酸亜鉛セメントを使用できます。その際は、クラウン辺縁部の余剰セメントを完全に除去するように注意します。

仮着セメントで固定する場合は、アバットメントの上3分の2を粗面化またはプラスト処理する必要があります。

上部構造のスクリュー固定

歯冠形態に築盛したオーロベースを咬合面からヘックスドライバー 1.22mm を使用してインプラントに 24Ncm のトルクで締め付けます。

水平スクリュー固定（前歯部）では、ヘックスドライバー 0.9mm を使用して 14Ncm のトルクでクラウンをオーロベースアバットメントに固定します。

アトランティス 患者固有アバットメント

従来のCAD/CAMを超えたアトランティスの患者固有のアバットメントを使用することで、ザイブ インプラントに個性をもたらすベースが提供されます。

アトランティスアバットメントは、セメント固定および単独歯のスクリーによる固定修復をサポートし、機能面と審美面の両方において最適な結果を得るためのベースになります。



高い柔軟性と精度

アトランティス アバットメントでは、すべての必要なデザイン パラメーターが考慮されているため、優れた補綴修復が可能となります。特許取得済みのアトランティス VAD (バーチャル アバットメント デザイン) ソフトウェアにより、各アトランティス アバットメントは、固有の欠損スペース、隣接歯、軟組織の解剖学的構造を考慮し、最終歯冠形態に基づいて症例ごとにデザインされます。

最適化された軟組織の管理

アトランティス アバットメントのエマージェンスプロファイルは、個別にデザインできるため軟組織の形成に使用できます。

調整不要

ザイブ用のアトランティス アバットメントの正確な連結により、強固で安定した適合性および最適な荷重伝導が実現します。アトランティスの患者固有のアバットメントは、チェアサイドで修正する必要性も減らします。

セメント固定式修復物用 アトランティス アバットメント

アトランティス アバットメントは、チタン、ゴールドシェードチタン、またはジルコニア製が利用できます。ジルコニア製アバットメントには、複数のシェードが用意されています。

スクリー固定式修復物用 アトランティス クラウンアバットメント

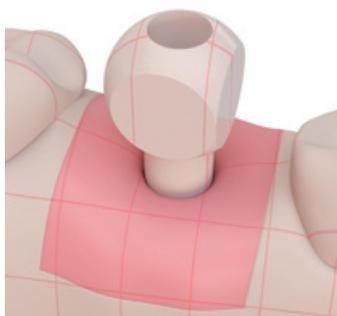
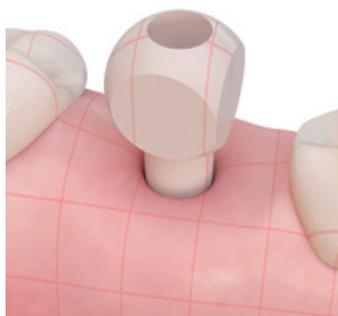
アトランティス クラウンアバットメントは、チタンおよび乳白色を含む5種類のシェードのジルコニアを使用できます。

これは、単独歯のスクリー固定式修復において、従来の鑄接アバットメントへのポーセレンまたはコンポジットレジンによるキャスト アバットメントに代わる、効率的、効果的かつ審美的なクラウンアバットメントです。

ステップバイステップ： アトランティス 患者固有アバットメント

アトランティスの患者個別アバットメントは、チタン、ゴールドシェード（窒化チタン コーティングー TiN）、および多様なシェードのジルコニアを含む生体適合性材質の中から審美的要求度の高い症例に選択できます。

アトランティス VAD（バーチャル アバットメント デザイン）は、アバットメントのデザインをすべて仮想環境で行うためのエキスパートシステムソフトウェアです。入力したすべての情報を活用してアバットメントの初期デザインに変換できるスマートなソフトウェアです。



チェアサイドの手順

口腔内スキャナーおよびアトランティスIO FLOを使用して、インプラントレベルのデジタル印象を採得します。デジタルファイルを分析し、アトランティスアバットメントの依頼と合わせてファイルを歯科技工所に転送します。

別の方法として、従来のようにインプラントレベルの精密な印象（アクアジルウルトラ、デンツプライシロナ社など）を採得し、アトランティス アバットメントの依頼と合わせて歯科技工所に送付します。

歯科技工所の手順

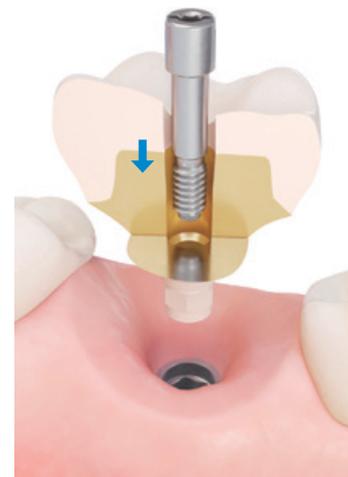
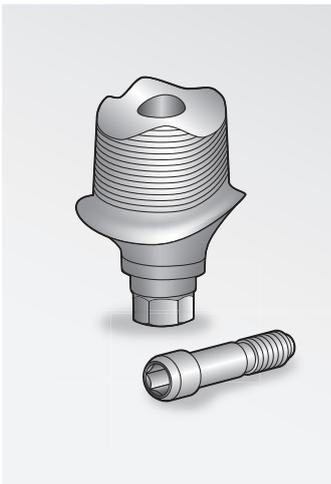
デジタルファイルを確認するか、従来の印象を使用してガムシリコンを含む模型を作製します。歯科技工所で模型をスキャンするか、またはデンツプライシロナ インプラントの製作所に送付します。アトランティス ウェブオーダーでデザインおよび製造の注文を送信します。

アバットメント デザイン

アトランティス アバットメントは、アトランティス VAD ソフトウェアを使用してデンツプライ インプラントでデザインされます。このソフトウェアにより、欠損スペースや隣在歯を考慮した各アバットメントをデザインできるようになります。アバットメント デザインは、製造前にアトランティス 3Dエディターで歯科技工士が確認し、承認します。



別の術式



最終補綴物

アトランティス アバットメントおよびアバットメントスクリューが歯科医師に提供されます。

アトランティス アバットメントの追加修正はしないことをお勧めします。

ブリッジ構造の作製については、単独歯クラウンの場合と同じ手順が使用されます。個々のアバットメント上のブリッジ構造はセメント固定のみが可能です。

アバットメントの装着

アバットメントはアバットメントスクリューとともに、プロステティックラチェットとフリーアデント ラチェット用ヘックスドライバー 1.22mm またはドライバーインサートをトルク制御付きコントラングルハンドピースに装着して、24 Ncm で締め付けます。

すべてのコンポーネントを洗浄し、消毒します。金属製のクラウンはセメント固定またはスクリュー固定することができます。オールセラミッククラウンやセラミックショルダーを使用したクラウンは、いかなる場合もセメント固定式を用いる必要があります。

アトランティス クラウンアバットメント

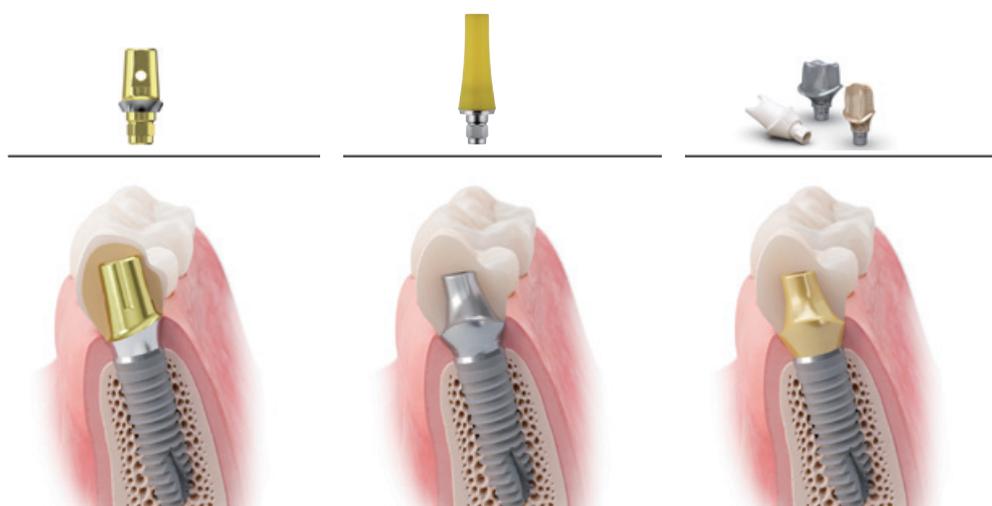
アトランティス クラウンアバットメントは、スクリュー固定式の単独歯修復に対応しています。これは従来の鑄接アバットメントに代わる効率的、効果的かつ審美性に優れたアバットメントです。ポーセレンまたはコンポジット レジンのアバットメントに直接築盛することができ、アバットメントデザインは、築盛材に対応しています。アトランティスクラウンアバットメントは、チタン（グレード5）および5種類のシェードのジルコニアで作製できます。

詳細については、アトランティス患者個別アバットメントのデザインガイドを参照してください。

広範囲な欠損および無歯顎向けの 固定式ソリューション



インプラント レベルでの補綴修復



フリアデント エステティック ベースによる修復

水平およびトランスバーサル スクリュー用のホールを加工済みのフリアデント エステティックベース アバットメントは、カスタマイズが可能です。ショルダーが解剖学的に輪郭形成されており、さまざまな粘膜高さで利用可能です。

これらのアバットメントを使用して、セメント固定式のブリッジとラテラルスクリュー固定式のブリッジの両方に適用できます。

フリアデント オーロベース による修復

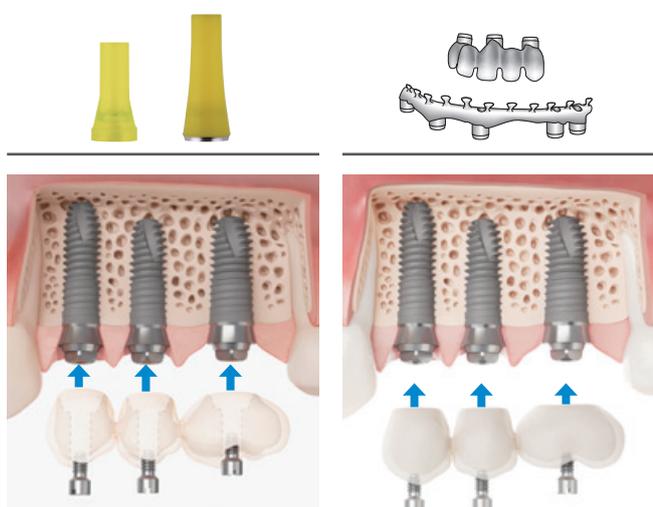
オーロベースアバットメントを構成する既製のインプラント接合部は、個々のアバットメントのベース部分の役目を果たし、ほぼ無制限の個別性が得られます。

したがって、軸角度の開きが大きい症例や、咬合クリアランスが小さい症例など、特殊な問題があり、テレスコープまたはコニカル クラウン技法が必要な修復例に使用することができます。

患者固別のアトランティス アバットメントによる修復

アトランティス アバットメントを使用することで、前歯部と臼歯部における患者固有のセメント固定式（アトランティス アバットメント）修復および単独歯スクリュー固定式（アトランティス クラウンアバットメント）修復が可能になります。これは、機能面と審美面の両方において優れた結果を得るための究極のベースであるということです。

アバットメント レベルでの補綴修復



ザイブ/フリアドेंट MP アバットメントによる修復: キャストブル/キャストウー ワックスアップスリーブ

キャストブルおよびキャスト
トウのフリアドेंट ワックス
アップスリーブは、ザイブ/フ
リアドेंट MPアバットメント
上でスクリュー固定するブリッ
ジの作製に使用されます。

ザイブ/フリアドेंट MP アバットメントとアトラン ティス上部構造による修復

アトランティス バー、ブリッジ、
またはハイブリッドは、部分欠
損症例および無歯顎症例向け
のソリューションであり、患者
様の審美性と機能性に対する
要望や好みに応えます。

ザイブ/フリアドेंट MPアバットメント (マルチ パーパス)

フリアドेंट MPアバットメントは、複数インプラントによる修復のためのスクリュー固定式ブリッジまたはバー構造の支持に使用されます。補綴術式は、1回法（直接）または2回法（間接）の2種類の術式を使用できます。



MPトランスファー印象コーピングを使用したアバットメント レベルでの印象採得とカバー スクリューによる封鎖



カラーコード化されたMPアバットメント (D 3.4 ~ 4.5) およびMPアバットメントスクリュー。スクリューヘッドに付けられているグループの数は、対応するアバットメントインサートの粘膜の高さを表しています。

ザイブ MPアバットメントアングルド、シーティングインスツルメントに取り付けられたザイブ Mインサートヘッド

フリアドेंट MPアバットメントストレート/ザイブ MPアバットメントアングルド

フリアドेंट MPアバットメントストレートとザイブ MPアバットメントアングルドはチタン製です。さまざまな直径および粘膜の高さに対応しています。各MPアバットメントの粘膜高さに対応するMPアバットメントスクリューがあります。これを使用してインプラントにMPアバットメントインサートを締め付けます。

ザイブ MPアバットメントアングルドはヘッド部分が非常に小さく、上部構造のデザインにおいて高さや直径の両方の点で優れた自由度をもたらします。

シーティングインスツルメントは短く柔軟性があるため、特にスペースが限られている場合でも、確実に取り扱うことができ、アバットメントを簡単に配置できます。

ザイブ MPアバットメント PS (プラットフォームスイッチング)

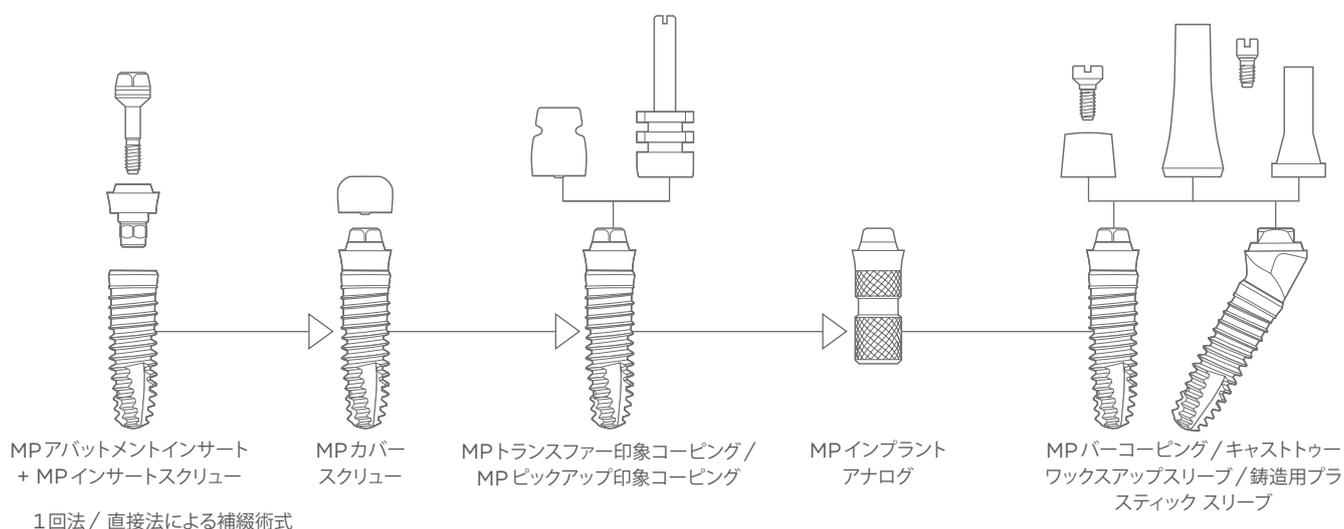
- 直径が3.8および4.5のインプラントで、より小さい径のアバットメントを使用した修復が可能
- PSアバットメントが長期的な審美結果を支持
- すべてのPSアバットメントにPSのレーザーマーク付き

SmartFixコンセプト – インプラント傾斜埋入のための補綴ソリューション

SmartFixコンセプトにより、最少4本のインプラントで、上顎および下顎の無歯顎患者にスクリュー固定式ブリッジまたはバー義歯による修復が可能になります。

一般的な着脱方向を得るため、傾斜埋入されたインプラントには15°または30°のザイブ MPアングルドアバットメントを配置します。

補綴オプションは2つあります。従来の上部構造を作製する方法と、高精度の適合性を備えたアトランティスによるインプラント上部構造を使用する方法です。



1回法/ 直接法による補綴術式

2回法/ 間接法補綴術式

MPアバットメントでの修復については、2種類の補綴術式を使用できます。

- 1回法 (直接法による補綴術式)
- 2回法 (間接法による補綴術式)

直接法では、MPアバットメントはインプラント埋入時または粘膜下治癒後の2次オペ時に直接取り付けられ、「1つのアバットメントで一度」の原則に従い、患者の口内に残されます。

印象はアバットメントレベルで採得し (印象採得の詳細な手順は40ページを参照)、歯科技工所でMPインプラントアナログを用いて作製します。

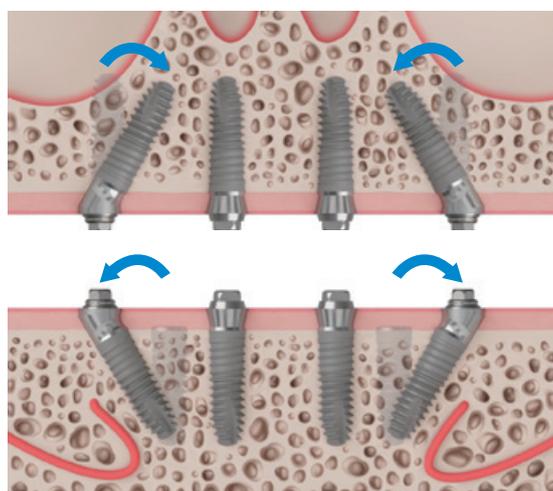
2回法術式では、印象はインプラントレベルで採得します (印象採得の詳細な手順は34ページを参照)。

歯肉の高さに対応したMPアバットメントが歯科技工所で選択されます。これは、最終補綴修復とともに患者に装着されます。

SmartFix コンセプト

スマートフィックスコンセプトにより、最少4本のインプラントで、上顎および下顎の無歯顎患者にスクリュー固定式ブリッジまたはバー義歯による修復が可能になります。

一般的な着脱方向を得るため、傾斜埋入されるインプラントは、15°または30°のザイブ MP アバットメントアングルドで修復されます。



骨移植が不要に

角度をつけて配置されたインプラントを使用することで、骨増成および重要な解剖学的に注意が必要な領域を大幅に回避できます。たとえば、これにより上顎洞底挙上術や下顎神経移行術が不要になります。

安定性のある補綴適合性

既存の骨量にインプラントを傾斜埋入することで、補綴物の支持領域が遠位まで広がります。したがって、既存の骨が最適に活用され、カンチレバーを減らすことで補綴物の支持が改善されます。

この修復には2通りの作製方法があります。従来の上部構造を作製する方法と、高精度の適合性を備えたアトランティスによるインプラント上部構造を使用する方法です。

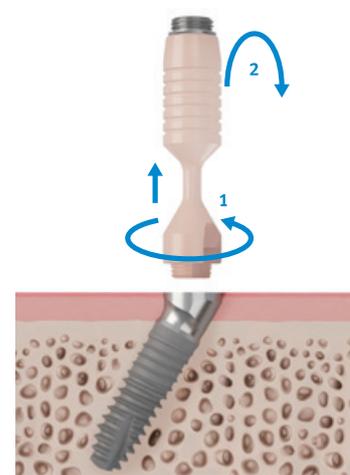
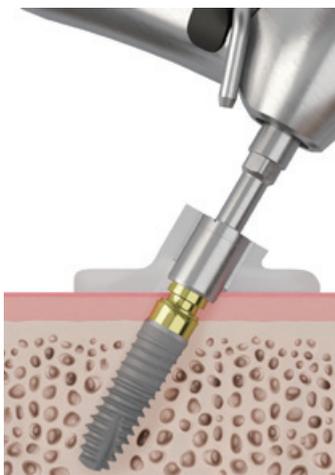
SmartFix コンセプトには次のようなメリットがあります。

- 安定性のある補綴適合性の実現
- インプラントを埋入傾斜することで、解剖学的に重要な領域を回避

ステップバイステップ： SmartFix コンセプト

アングルドのMPアバットメントアングルドの2つのコンポーネントはシーティングインストゥルメントに取り付けられています。シーティングインストゥルメントは、PEEKプラスチック製で、必要に応じて口腔外側は整形しておくことが可能です。

そうすることで、MPアバットメントアングルドをインプラントに簡単に配置できるようになります。



インプラント埋入

必要に応じて、インプラントに角度を付けて埋入します。その際、アバットメントが計画された方向へ位置するようインプラントドライバーのマーカークの向きを調整してください。2つのインプラント間の軸角度の誤差は最大45°まで補正できます。シムプラントなどの3Dコンピューターシミュレーションの術前治療計画によるガイドドサージェリーでの治療を推奨します。

ザイブ インプラントシステム埋入の詳細は外科マニュアルをご参照ください。

スクリュー固定式アングルドアバットメントの装着

MPアバットメントアングルドのアバットメント本体はシーティングインストゥルメントを使用してインプラントに取り付けます。アバットメントのプラットフォームは、咬合平面に対して平行にする必要があります。スクリューの締め付けにはヘックスドライバー 1.22 mmを使用し、24 Ncmのトルクで締めます。

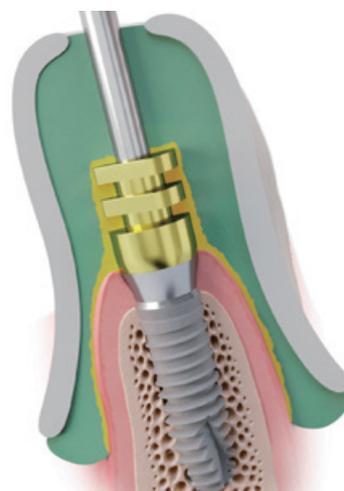
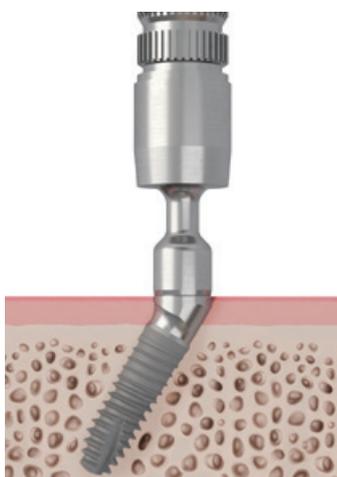
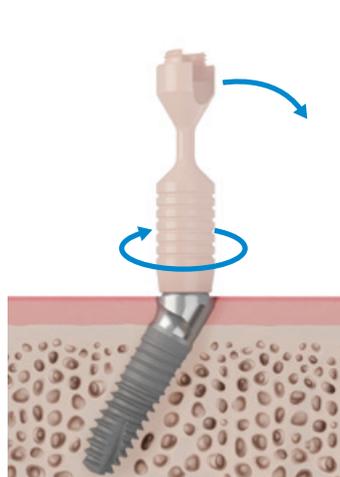
必要に応じて、アバットメントの装着前に周囲骨の調整を行います。適切なX線画像でアバットメントの最終的な適合性を確認します。

シーティングインストゥルメントの取り外しと反転

MPアバットメントアングルドのインプラントに装着されたアバットメント本体から、シーティングインストゥルメントを反時計回りに回転させ緩めて外します。

その後、シーティングインストゥルメントを上下180°回転させ、シーティングインストゥルメントに組み込まれているアバットメントヘッドをアバットメント本体に装着します。

ステップバイステップ: SmartFix コンセプト



アバットメントヘッドの装着

アバットメント本体を適切なトルクで装着後、シーティングインスツルメントを使用してアバットメントヘッドをアバットメント本体に手指で固定します。アバットメントヘッドからシーティングインスツルメントを取り外します。

アバットメントヘッドの固定と縫合

Friadent ラチェットシーティングインスツルメント MP アバット用を使用してアバットメントヘッドを固定します。

アバットメントレベルでの印象採得

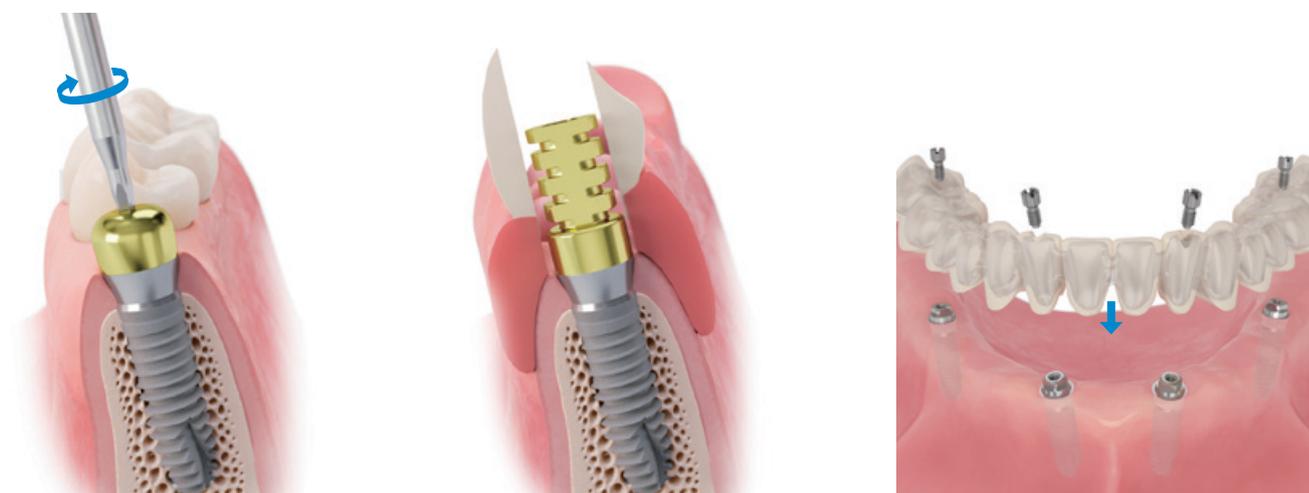
MP インプレッションコーピングピックアップを使用して、オーブントレー法でアバットメントの位置を印象採得します。

歯科技工所に印象を送付します。

既存の補綴物を使用する場合の注意事項:

- MPリテンション スリーブを配置し、必要に応じて短くします。
- 補綴物を削合して適切に窪ませます。
- MPリテンション スリーブがずれないようにします。
- 過剰な重合収縮を避けます。

- 適宜成形したラバーダム シートを使用して軟組織を保護します。
- 気泡が無く粘性のある常温重合型レジンを混合します。
- MPリテンション スリーブを完全に覆い、スクリーホールを確保してください。



カバースクリューによる封鎖

MPアバットメントアングルドは患者の口腔内に残るため、補綴修復物が届くまで、MPカバースクリューで封鎖します。

暫間補綴修復

既存の補綴物を修正して、暫間修復物にすることができます。補綴物内でMPリテンションスリーブのずれにより咬合が変わらないよう、重合プロセス中の補綴物の横方向および/または縦方向のずれを回避する必要があります。補綴物のカンチレバーはできる限り短くする必要があります。

最終上部構造のスクリー固定

上部構造を洗浄・消毒し、ヘックスドライバー 1.22mmを使用して24NcmのトルクでMPアバットメントに装着します。

フリアドेंट キャスタブル/ キャストトゥー ワックスアップスリーブ

フリアドेंट キャスタブルおよびキャストトゥーワックスアップスリーブは、フリアドेंट MPアバットメント上のスクリュー固定、個別のミリングブリッジ、バー構造の作製のための既製ワックスアップベースとして使用されます。



フリアドेंट キャスタブルワックスアップスリーブ

ザイブ/フリアドेंट MPアバットメントとフリアドेंट キャスタブルワックスアップスリーブの組み合わせは、スクリュー固定式ブリッジ フレームワークの作製に使用されます。選択した術式（67ページを参照）に応じて、MPアバットメントがチェアサイドまたは技工所で選択されます。ワックスアップスリーブは、対応するMPアバットメントに応じて常に歯科技工所で選択されます。歯科技工士は、必要に応じてワックスアップスリーブを短くし、ブリッジフレームワークの土台として使用します。 casting後、フレームワークの接合面をフリアドेंट フィニッシャーで滑らかにする必要があります。

フリアドेंट フィニッシャー

ステンレス鋼製のフリアドेंट フィニッシャーは、接合面の適合および casting工程で残った粗雑面を、簡単かつ正確に平滑化するために必要です。

スクリューヘッド固定用のフィニッシャーを使用することで、 casting用プラスチック スリーブに使用するフリアドेंट MPスクリューが正確に固定されるようになります。

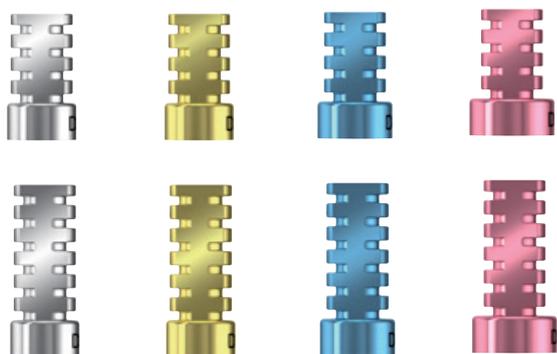
フリアドेंट キャストトゥーワックスアップスリーブ

POMプラスチック製のキャストトゥーワックスアップスリーブは、高融点の casting用貴金属合金シリンダーに取り付けられています。

MPアバットメント上のフリアドेंटキャストトゥーワックスアップスリーブは、スクリュー固定式ブリッジの作製に使用されます。選択した術式（67ページを参照）に応じて、MPアバットメントがチェアサイドまたは技工所で選択されます。対応するクラウンベースを常に歯科技工所で選択し、必要に応じてスリーブを短くし、ブリッジフレームワークの土台として使用できます。

キャストブル ワックスアップスリーブとは異なり、キャストトゥー ワックスアップスリーブは、フリアドेंट フィニッシャーで仕上げを行う必要はありません。

フリアデント パッシブフィット セット/ ザイブ MPリテンション スリーブ



ザイブ MPリテンション スリーブ

- 補綴物 / ブリッジの重合
- アバットメント レベルの印象採得 (ピックアップ)
- チタン合金 (グレード5)
- カラーコードとレーザータグ付き
- ショートおよびロング

ステップバイステップ： キャストブル/ キャストトゥー ワックスアップスリーブと MP アバットメント



印象採得とワックスアップスリーブの使用

印象はインプラントレベル（MPアバットメントは歯科技工所で選択）でもアバットメントレベル（MPレプリカにモデルを装着）でも採得可能で、採得にはそれぞれの印象コーピングを使用します（印象採得の詳細については、34ページを参照）。

上部構造は、歯科技工所で铸造用プラスチックスリーブ、またはクラウンベースを使用して作製されます。キャストブル/キャストトゥー スリーブの使用説明に関する指示を考慮します。

上部構造の作製

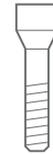
ブリッジ（またはバー）構造のワックスアップ、铸造を行い、提供する前に使うべきフィニッシャーで研磨します。キャストトゥー ワックスアップスリーブを使用している場合はフィニッシャーは不要です。

続いて、ブリッジの築盛します。歯科技工所での手順に関する詳細な説明は、ザイブ技工マニュアルを参照してください。

1回法/直接法による補綴術式

ヘックスドライバー 0.9mmを使用してMPアバットメントからMPシーリングキャップを取り外します。

ヘックスドライバー 1.22mmを使用して24Ncmのトルクで、MPインサートスクリュー（MPアバットメントアングルドの場合はインサートヘッド）の強固な適合を確認します。



別の術式



2回法 / 間接補綴術式

ヘックスドライバー 0.9mmを使用してジンジバルフォーマーを緩めるか、インプラントを露出しインプラントカバースクリューを取り外します。

次に、MPアバットメントを取り付け、対応するMPアバットメントスクリューとともにMPドライバーを使用して締めます。MPアバットメントスクリューの推奨トルクは24Ncmです。

適合性の確認

最後の完成前に、相互関係、審美性、補綴物、咬合状態（シェフィールド検査、43ページを参照）の適合性を確認します。

上部構造の配置

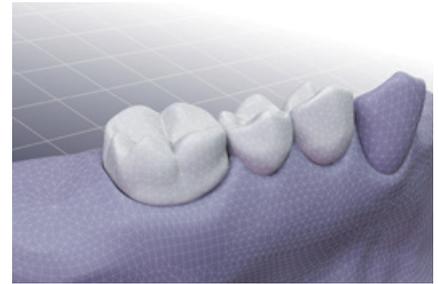
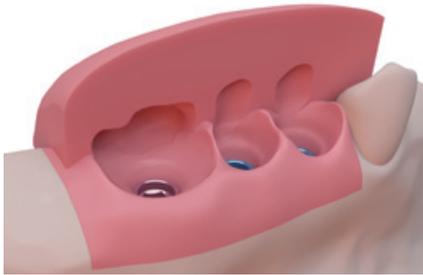
最終補綴物については、上部構造とキャストアプスリップのフリーアデント MPスクリューをヘックスドライバー 1.22mmを使用して24Ncmのトルクで固定します。

ステップバイステップ: アトランティス ブリッジおよびハイブリッドを使用したMPアバットメント

アトランティスのインプラント上部構造は、インプラントレベルまたはアバットメントレベルで複数のインプラントを使用した部分欠損または無歯顎症例の修復のための、患者固有のソリューション作製においてあらゆるオプションを提供します。

アトランティスブリッジは、セラミックまたはコンポジット積層技術のために削減された最適な解剖学的なフレームワークを提供します。

アトランティスハイブリッド構造は、追加の維持要素を提供します。修復物の完成にはレジン歯およびアクリリックレジンを使用できます。



印象採得と歯科技工所の手順

印象はインプラントレベル（MPアバットメントは歯科技工所で選択）でもアバットメントレベル（MPインプラントアナログにモデルを装着）でも採得可能で、採得にはそれぞれの印象コーピングを使用します（印象採得の詳細については、34ページを参照）。

歯科技工所では、ガムシリコンおよびシリコンキーを使用して、歯牙情報の診断を行った後、ブリッジまたはハイブリッド構造作製のための模型上のワックスまたはレジン製のデザインテンプレートを作製します。

オーダーの手順

フレームワークのオーダーは、アトランティス ウェブオーダー（www.Atlantisweborder.com）から送信します。模型、該当する場合はMPインプラント アナログまたはMPアバットメントおよび診断用ワックスアップ模型またはデザインテンプレートをデンツプライシロナ インプラントの製作所に送付します。

ブリッジおよびハイブリッド修復の機能性を審美性を向上させるために、歯科技工所はアングルドスクリーアクセスのオプションを利用することができます。これは、オーダー手順に記載されている必要があります。

デザイン

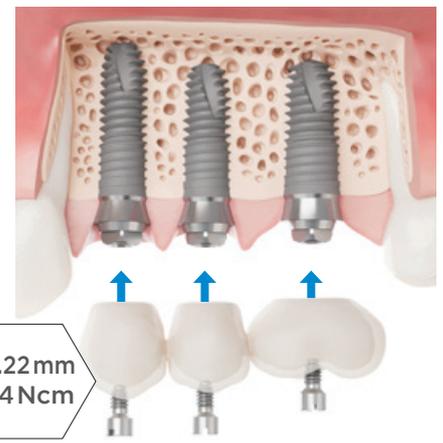
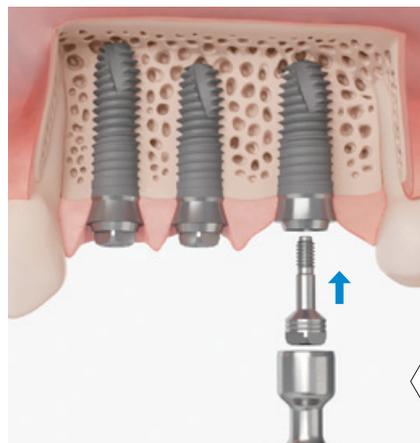
DDSC-Tokyoでは、模型および診断用歯牙情報を3Dスキャンし、上部構造をデザインします。デザインはミリング前に歯科技工所でアトランティスビューアを使用して確認され、製造の承認を受けます。

完成した上部構造は、対応するアトランティス補綴スクリーとともに提供されます。上部構造は歯科技工所でセラミックまたはコンポジットレジンで築盛され、スクリーとともに歯科医師に送付されます。

アトランティスの患者固有のインプラント上部構造は、アングルドのスクリーアクセスという独自の機能を備えています。スクリーチャンネルの位置を合わせることで、補綴物のスクリーアクセスの位置を最適化し、ブリッジやハイブリッド修復の機能性と審美性を向上させることができます。



別の術式



1回法 / 直接法による補綴術式

ヘックスドライバー 0.9mmを使用してMPアバットメントからカバースクリューを取り外します。ヘックスドライバー 1.22mmを使用して24Ncmのトルクで、MPインサートスクリュー（MPアバットメントアングルドの場合はインサートヘッド）の強固な適合を確認します。

2回法 / 間接補綴術式

ヘックスドライバー 0.9mmを使用してジンジバルフォーマーを緩めるか、インプラントを露出しカバースクリューを取り外します。

次に、MPアバットメントを取り付け、対応するMPアバットメントスクリューとともにMPドライバーを使用して締めます。MPアバットメントスクリューの推奨トルクは24Ncmです。

上部構造の配置

すべてのコンポーネントを洗浄し、消毒します。築盛されたアトランティスブリッジまたはハイブリッドをMPアバットメントにスクリー固定し、スクリーアクセスホールを塞ぎます。

注意：無歯顎用のフルブリッジ構造の作製については、広範囲の欠損症例と場合と同じ手順が使用されます。

無歯顎向けの可撤式ソリューション

ロケーター コンセプト



ザイブ ロケーターによる 修復

ロケーターの自己調整機能により上顎と下顎の両方のオーバーデンチャーを正確かつ容易に配置することができ、軸角度の開きを最大で40°まで補正できます。

垂直方向の高さが低いため、可動性や咬合高径が限られている患者にとっても理想的なソリューションとなっています。

フリーアデント ボールアタッチメントによる修復

調整可能なフリーアデント ボールアタッチメントは、下顎におけるオーバーデンチャーの迅速かつ経済的な固定法を提供します。ボール部上でボールアタッチメント マトリクスを回転させることで、インプラントの軸角度の開きを最大15°まで補正できます。

フリーアデント ボールアタッチメントのコンセプトにより、使用中の義歯のチェアサイドでの加工や、歯科技工所での新しい補綴物の作製が可能になります。

フリーアデント オーロベースによる修復

オーロベースアバットメントの既製のインプラント接合部は、個々のアバットメントの土台の役目を果たし、ほぼ無制限の個性が得られます。

したがって、軸角度の開きが大きい症例や対合歯とのクリアランスが限られている症例など、特殊な問題があり、テレスコープまたはコニカルクラウン技法が必要な修復例に使用することができます。

フリーアデント テレスコープアバットメントによる修復

フリーアデント テレスコープアバットメントは、テレスコープまたはコニカルクラウンでオーバーデンチャーを固定するために使用されます。

チタン製のフリーアデント テレスコープアバットメントは、軸角度に開きがある場合でもカスタマイズされた作製が可能になります。

SmartFixコンセプト

アトランティス コーヌス コンセプト



ザイブ/フリアドेंट MPアバットメント/バー による修復

フリアドेंट バーコーピングは、ザイブ/フリアドेंट MPアバットメント上でオーバーデンチャーを固定するバー構造の作製に使用されます。ロウ着、レーザー溶接用のバージョンがあります。

フリアドेंट MPアバット メント/アトランティスバー による修復

患者の最終補綴物であるフリアドेंट MPアバットメント上のアトランティスバーは、高品質かつテンションフリーの患者固有のバー上のアタッチメントにより固定されます。

アトランティス コーヌス コンセプトを使用した修復

アトランティス コーヌスコンセプトにより、費用効果が高い、インプラント支持による補綴物を無歯顎患者に提供できるようになります。

このソリューションは、摩擦による維持方式の非弾性補綴物の安定性のみならず、固定式補綴の快適さも兼ね備えています。

このコンセプトは、患者固有のアトランティス コーヌスアバットメントと既製のシンコーンキャップで構成されています。

ロケーターコンセプト

インプラントでサポートされる補綴物のシンプルで確実な固定は、主に高齢者への修復処置の成功のために必要不可欠なものです。

セルフアライニングのロケーターは、上下顎においてインプラントが傾斜し角度の差が発生した場合でも、簡便にオーバーデンチャーを正しい位置に修正、誘導します。その低い高径は、口腔内のスペースや可動域に制限がある患者にとっても理想的なソリューションとなります。



ザイブ ロケーターアバットメントおよびロケーター インサート メール (クリア/ ストロング、ピンク/ ライト、ブルー/ エキストラ ライト)。エクステンドレンジ: グレー/ゼロ、グリーン/ ストロング、オレンジ/ ライト、レッド/ エキストラ ライト)。

セルフアライニングデザイン — ワンクリックで固定

- 補綴物のアライメントが容易。
- 軽圧で補綴物を正確な位置に装着。

低い高径 — 限られた咬合スペースでもゆとりある空間

- アバットメント上に付与された維持部は粘膜縁上の低い位置に。
- 咬合高径が制限されるケースでも、補綴物の挿入を容易にする十分なスペース。

多種類の維持力 — 傾斜を補正

- 維持力を調整することができるインサートメールと呼ばれるカラーコード化されたインサートを用いることによりカスタマイズが可能。
- インプラント同士の傾斜が40°まで補正可能。

安全な (確実な) 維持 — 補綴物の継続的な耐久性

- ロケーターアバットメントの二重の維持機構は、従来型のアタッチメントとくらべ、補綴物の装着を容易に。
- 最適な補綴物の耐久性と、回転が可能で摩耗が少ないインサートメール。

ロケーターコアツールは3ピースで構成されています。

手指によるロケーター
アバットメントの装着

インサートメール
の装着

インサートメール
の除去



注意：ロケーターアバットメントを最終締め付けする際は、トルクが規定されたプロステティックラチェットインサートを使用してください。

ザイブ プロステティック
ラチェットインサート
ロケーターアバットメント



注意：30 Ncmでアバットメントを締め付けます。



機能領域は歯肉縁上に位置する必要があります。

ロケーター インプラントアタッチメントシステムを使用する前に、使用説明書をお読みください。

ロケーター インプラントアタッチメントシステムは、歯科/外科治療、職業上の安全性、事故予防のための一般的な規則に基づいた目的のためにのみ使用することができます。

適切なロケーターアバットメントを選択するには、インプラントの直径と歯肉の厚さが分かっている必要があります。歯肉の厚さにより、アバットメントに必要な歯肉高が決まります。機能領域が歯肉縁上にある場合は、アバットメントの正確な高さは選択されています。

注意：インプラントのロケーターアバットメントの最終装着には、指定されたトルクインサートを使用してください。

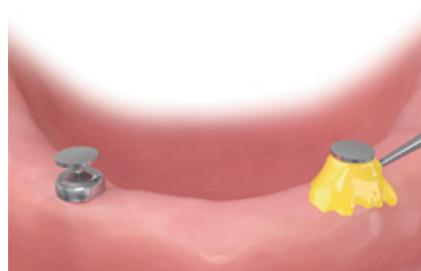
ステップバイステップ： ロケーターコンセプト

ロケーターコンセプトにより既存の義歯をチェアサイドで直接固定できるようになります。別の方法として、歯科技工所で新規の補綴物を作製することもできます。

直接法による補綴術式



間接法による補綴術式



ロケーターアバットメントの装着

ジンジバルフォーマーを取りはずした後、粘膜の高さに合わせてロケーターアバットメントを選択します。ザイブ プロステティックラチェットインサートロケーターアバットメントまたはロケーターコアツールのアバットメントドライバー（ゴールド色）を用いアバットメントを装着します。確実にアバットメントを保持するため、アバットメントドライバー上のアバットメントホルダースリーブをスライドさせ、アバットメントをアバットメントホルダースリーブに挿入し、所定の位置に装着します。プロステティックラチェットインサートとプロステティックラチェットを用い、30Ncmでアバットメントを締め付けます。補綴物をラボサイドで作製する場合、印象採得はアバットメントの装着後に行ってください。既存の補綴物を利用しチェアサイドで調整する場合は、補綴物に直接プロセッシングキャップを固定します。

傾斜角の測定

アバットメント上にパラレルポストを装着し、アングルメジャーガイドを用いて傾斜角を測定します。

それぞれのインプラントの傾斜が10°以下の場合、クリアー、ピンク、ブルーのインサートメールから必要とする維持力のものを使用します。

それぞれのインプラントの傾斜が10～20°の場合、グリーン、オレンジ、レッド、グレーのインサートメールを使用します。

歯科技工所での新しい補綴物の作製

歯科技工所で補綴物を作製する場合は、ロケーターアバットメントの設置後に臨床状況の印象を採得する必要があります。

ロケーターアバットメント上にロケーター印象コーピングと一体型の黒色のリプレースメントメールを配置し、全額の影響採得を行います。

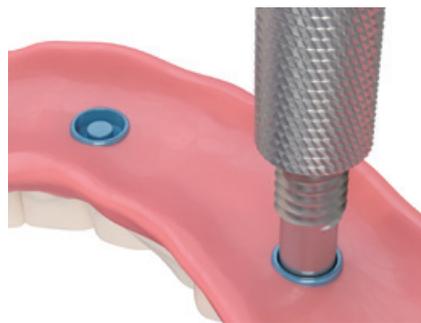
黒色のリプレースメントメールを印象コーピングに残したままの印象を歯科技工所に送付します。歯科技工所は、模型上で傾斜を測定し、補綴物を作製します。



プロセッシングキャップの装着と補綴物の準備

アバットメントのヘッド部にブロックアウトスペーサー（白色）を取り付けます。ブラックプロセッシングリプレースメントメールが装着されたプロセッシングキャップ（プロセッシングキット構成）をアバットメント上に取り付けます。

必要に応じてプロセッシングキャップとブロックアウトスペーサー、粘膜の間隙がなくなるように、ブロックアウトスペーサーを追加します。プロセッシングキャップが取り込まれる部位を削合します。



インサートメールの装着

インプラントの傾斜および希望する維持力により、カラーコード化されたインサートメールを選択、コアツールのインサートメールシーティングツールを使用してプロセッシングキャップにしっかりと装着します。

常に維持力の低いものから始め、段階的に維持力を強め、適したものを選択して頂くことを推奨します。

インサートメールは、プロセッシングキャップのマージンと揃っていないとなりません。

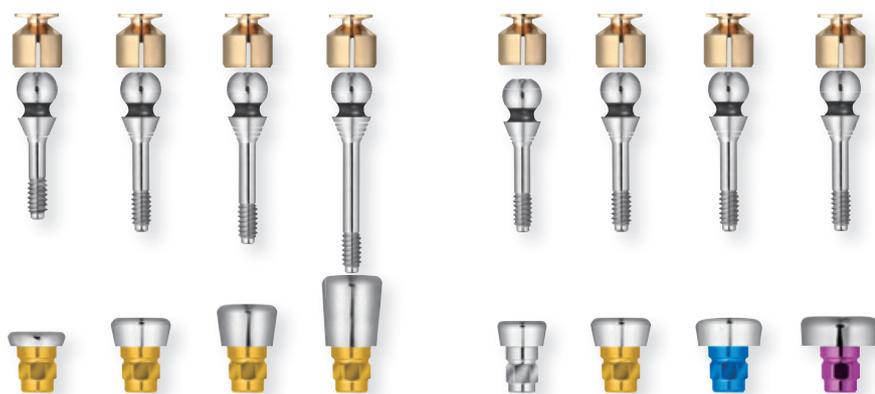


補綴物の装着

維持力を確認し、補綴物を装着します。

フリアドेंट ボールアタッチメント

調整可能なフリアドेंट ボールアタッチメントは、オーバードンチャーの迅速かつ経済的な固定オプションを提供します。メール部（アタッチメントスクリュー）のボールヘッド部分でマトリクス（ソケット）を回転させることで、最大15°までのインプラントの傾斜を補正できます。



フリアドेंट ボールアタッチメント
D 3.8、GH 1～5

フリアドेंट ボールアタッチメント
GH 2、D 3.4～5.5



ボールアタッチメント用のフリアドेंट
アクチベーター / ディアクチベーター

フリアドेंट ボールアタッチメント

フリアドेंट ボールアタッチメントのメール部は、アタッチメントインサートとのマトリクス（ボールヘッド アタッチメントスクリュー）で構成されています。粘膜高さ1,2,3,5mmを利用できます。

アタッチメントインサートは、カラーコード化されたインプラント/アバットメント接続部があり若干フレア形状になっておりません。

調整可能なマトリクス（アタッチメントキャップ）は、ハイプレシヤスな金合金から作製されます。

丸みのあるアタッチメントの洗浄が容易になるため、特に手を器用に動かすことが難しい患者にも最適です。

ボールアタッチメント用のフリアドेंट アクチベーター / ディアクチベーター

ディアクチベーターには、円錐状の先端部があり、これによりマトリクスのラメラを広げます。

アクチベーターの先端は、差し込んだとき狭める機能になっており、維持力を向上させます。

フリーアデント テレスコープアバットメント

フリーアデント テレスコープアバットメントは、テレスコープまたはコニカルクラウンでオーバードンチャーを固定するために使用されます。フリーアデント テレスコープアバットメントの直接加工により、鋳造せずに主要部分を作製することができます。



フリーアデント テレスコープアバットメント
D 3.0 ~ 5.5

フリーアデント テレスコープアバットメント

フリーアデント テレスコープアバットメントは、補綴物、可撤式ブリッジ、およびカスタマイズされた単独歯クラウンの固定用のテレスコープクラウンまたはコニカルクラウンを容易かつ経済的に作製するための主要部分となります。

スクリュー固定式の単独歯クラウンの作製には、テレスコープアバットメント（D 3.0およびD 3.4を除く）をチタン用セラミックで築盛できます。

注意：フリーアデント テレスコープアバットメントD 3.0は、アクリリックレジン[®]の直接築盛にのみ使用できます。

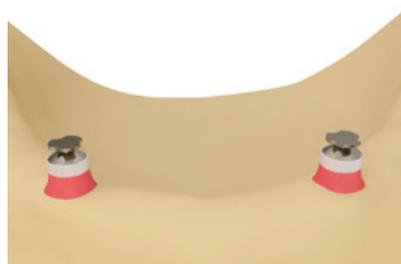
逆円錐形状のため、カスタマイズによる形成やミリングによる軸確度の開きの補正が可能です。

ステップバイステップ： フリーアデント ボールアタッチメント

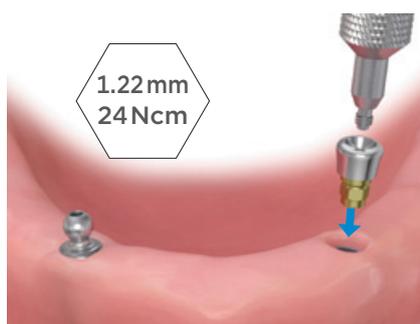
フリーアデント ボールアタッチメントコンセプトにより既存の義歯をチェアサイドで直接固定できるようになります。

別の方法として、歯科技工所で新規の補綴物を作製することもできます。

間接法による補綴術式



直接法による補綴術式



歯科技工所

印象採得を行い、模型が完成したら、歯科技工所はアタッチメントインサート/MPインサート用のフリーアデント シーティングインスツルメントを使用して対応するアタッチメントインサートを配置し、アタッチメントスクリューで締め付けます。マトリクスは、レジンを重合させ義歯に取り込みます。

アタッチメント インサートの配置

インプラント周囲軟組織の治療後、アタッチメント/MPインサート用フリーアデント シーティングインスツルメントでアタッチメントインサートを装着します。インサートの粘膜高さは、軟組織の高さに応じて選択する必要があります。

ヘックススクリュードライバー 1.22mmを使用して、推奨トルク24Ncmでパトリクス（アタッチメントスクリュー）を締めつけます。インサートおよびパトリクスはボールアタッチメントのメール部を構成します。

マトリクスの位置合わせ

黒色のシリコン製リングをボールネック部に配置し、マトリクスを着脱方向に位置を合わせます。これによりマトリクスを安定させ、ネック下部の領域への常温重合レジンの侵入を防ぎます。マトリクスの位置を合わせることで、最大15°までのインプラントの埋入方向の補正が可能です。

レジンの侵入を防ぐのと同時に、必要に応じてマトリクスを適切な維持力に調節するためのスペースを確保するため、白色のシリコン製リングをマトリクスのラメラ上にスペーサーとして配置します。



重合によるマトリックスの固定

義歯のインプラント領域を削合し、患者の口内に配置します。マトリックスの固定部を常温重合レジンで固定します。

レジンの硬化後、青色のシリコン製リングを取り除き、余剰レジンを削除・研磨し義歯を滑らかにします。

維持力の調節

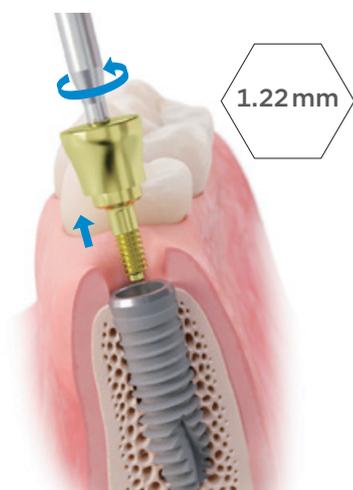
維持力を高めるにはアクチベーターで、減らすにはディアクチベーターで調節します。装着期間の後、再度維持力の調節を行います。

補綴物の装着

補綴物の適合性を確認します。

ステップバイステップ： フリーアデント テレスコープアバットメント

テレスコープアバットメントは、テレスコープまたはコニカルクラウンの支台になりオーバーデンチャーを支持するために使用されます。クリニックで印象を採得後、補綴修復物が歯科技工所で作製されます。



印象採得

粘膜下治療の場合はインプラントを露出させます。ヘックスドライバー 0.9mmを使用してカバースクリューを取り外すか、ヘックスドライバー 1.22mmを使用してジンジバルフォーマーを取り外し、34ページ以降の説明に従って印象を採得します。印象採得後、ジンジバルフォーマーを装着/再装着します。

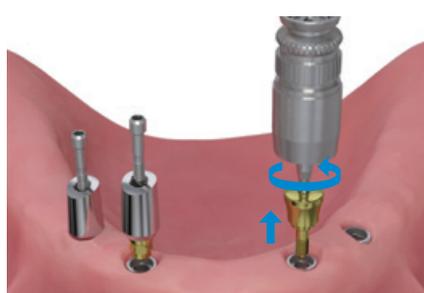
歯科技工所が模型作製の印象を受け取ります。

歯科技工所の手順

ミリング用インプラントアナログを組み込んだ模型の作製後、歯科技工士は対応するテレスコープアバットメントを選択します。次に、既製のテレスコープアバットメントから直接、ミリングマシンでコニカルまたはテレスコープクラウンの支台形状にミリングします。こうすることで、この後で補綴物の平行性を確立します。

最終義歯の作製

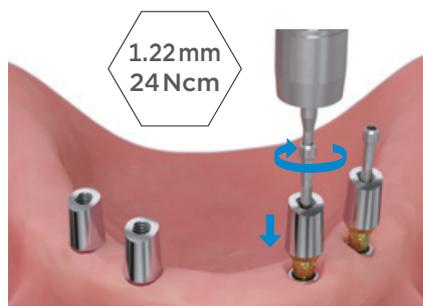
上部構造がモデリング、鋳造によって作製され、レンジによって義歯に取り込まれます。模型と共にテレスコープアバットメント、アバットメントスクリューおよび最終義歯が歯科医院に提供されます。



ザイブ ジンジバルフォーマー C の 取り外し

ヘックスドライバー 1.22mmを使用してジ
ンジバルフォーマーを緩めます。

模型で決めたインデックス位置と同じ位置の
インプラントに、カスタマイズしたフリアド
ント テレスコープアバットメントを装着しま
す。



フリアドント テレスコープアバットメント の配置

フリアドント テレスコープアバットメントは
アバットメントスクリューにて、プロステッ
クラチェットとフリアドント ラチェットヘッ
クドライバー 1.22mmを使用するか、トル
ク制御付きコントラングルハンドピースに
ドライバーインサートを装着して、24Ncm
で締め付けます。



補綴物の装着

補綴物の適合性を確認します。

フリーアデント MPバーソリューション： バーコーピングおよび部品

フリーアデント バーコーピングは、フリーアデント MPアバットメント上でオーバードンチャーを固定するバー構造の作製に使用されます。ろう着によるバー作製用です。



ゴールド/チタン/キャストブルのフリーアデント バーコーピングと
フリーアデント MPコーピングスクリュー



フリーアデント ゴールドバーコーピング
D 3.4、D 3.8、D 4.5およびD 5.5

フリーアデント バーコーピング

以下の既製コンポーネントをバー構造の作製に使用できます。

- ロウ着用の貴金属合金から作製されるゴールドバーコーピング
- レーザー溶接向けのチタンバーコーピング
- キャスタブルバーコーピング



フリーアデント ゴールドバーラウンド、チタンバー ラウンド、およびゴールドパークリップ

フリーアデント バークリップ アクチベーター

フリーアデント ゴールドバーとチタンバー（ラウンド）

貴金属合金製またはチタン製の既製のフリーアデント ラウンドバーは、長さが50mm、2mmの円形断面で利用できます。バーフレームワークでバーコーピングを接続するのに使用されます。

フリーアデント バークリップ

貴金属合金から作製される、調製可能なフリーアデント バークリップは、バー上でしっかり固定するため、義歯床に重合によって取り込まれます。

フリーアデント バークリップ アクチベーター

バーアタッチメントアクチベーターは、3つの鍵型の器具で構成されており、クリップの長さに関連した異なる幅（3、10、15mm）の刃が付いています。

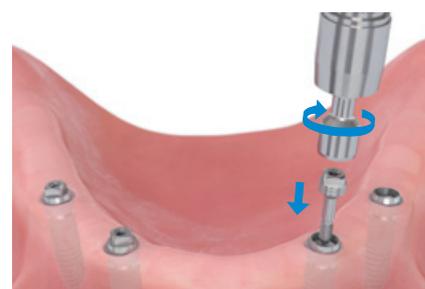
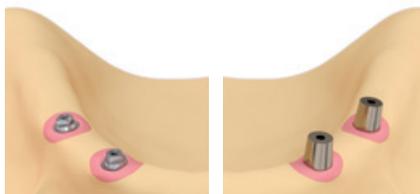
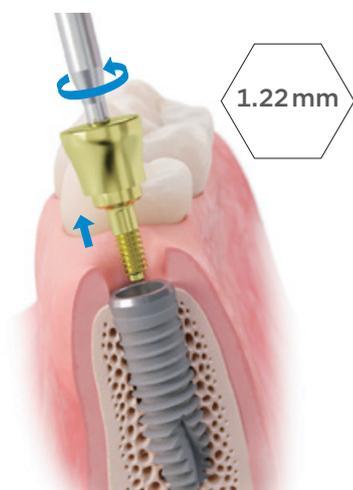
フリーアデント バークリップアクチベーターは、患者のニーズに応じて維持力を調節するために使用します。

ステップバイステップ： MPアバットメントとフリーアデント バーコーピング

ザイブ インプラントの補綴技法は、バー装置上でのオーバーデンチャーの固定に対してさまざまなオプションを提供します。バー支持によるオーバーデンチャーはすべて、MPアバットメント上で作製されます。

MPアバットメントでの補綴術式は、1回法と2回法の両方の術式を使用できます。以下の手順は、2回法/間接法による補綴術式について説明するものです。1回法/直接法による補綴術式については、92～93ページを参照してください。

MPアバットメント： 2回法（間接）術式



印象採得と歯科技工所の手順

粘膜下治癒の場合はインプラントを露出させます。ヘックスドライバー 0.9mmを使用してカバースクリューを取り外すか、ヘックスドライバー 1.22mmを使用してジンジバルフォーマーを取り外し、34ページ以降の説明に従って印象を採得します。印象採得後、ジンジバルフォーマーを装着/再装着します。

歯科技工所が模型作製の印象を受け取ります。

歯科技工所の手順

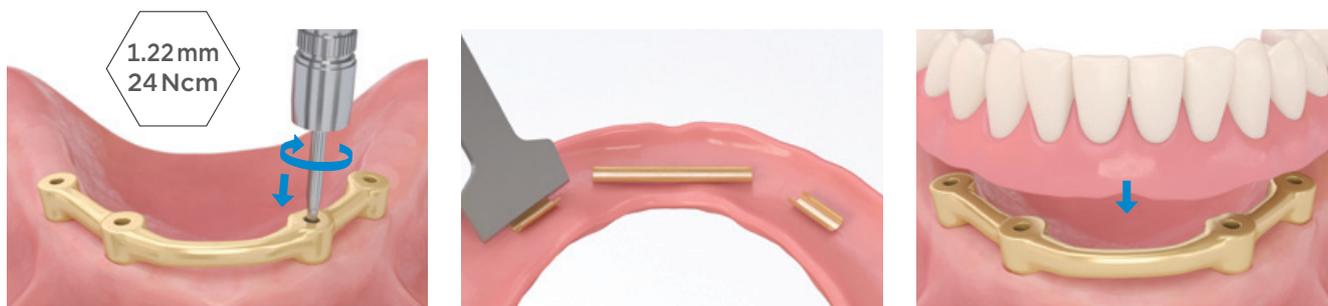
歯科技工所では直径および歯肉の高さに対応したMPアバットメントが使用されます。ゴールドコーピングはMPアバットメントにスクリュー固定されます。

ラウンドバーは必要な長さまで短くされ、ワックスまたはパターンレジン等で固定され、コーピングに口着されます。

MPアバットメントの配置

ヘックスドライバー 1.22mmを使用してジンジバルフォーマーを緩めます。

次に、対応するMPアバットメントを取り付け、MPアバットメントスクリューとともにMPドライバーを使用して締めます。MPアバットメントスクリューの推奨トルクは24Ncmです。



バーの配置

フリアドेंट ヘックスドライバー 1.22mm またはフリアドेंट マイナスドライバー 2.0mmを使用してバーを配置し、フリアドेंट MPコーピングスクリューを使用して24Ncmのトルクで締め付けます。

維持力の調節

バー構造に基づいて、バーアタッチメントクリップが既存の義歯に重合されています。フリアドेंट バークリップアクティベータを使用して、患者のニーズに応じて維持力を調節します。

最終補綴物の装着

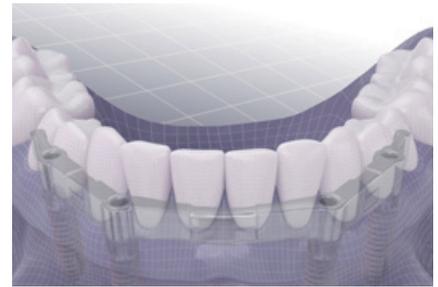
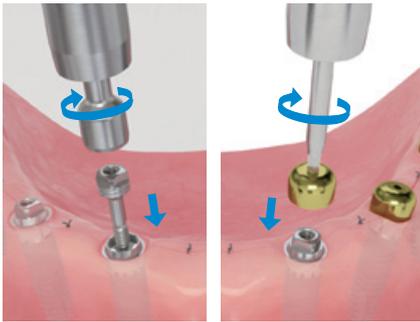
補綴物をバーに装着し、維持力を確認します。

ステップバイステップ： MPアバットメントとアトランティス バー

高品質かつテンションフリーの患者固有の最終補綴物であるMPアバットメント上のアトランティスバーは、オーバーデンチャーの支持のために作製されます。

MPアバットメントでの補綴術式は、1回法と2回法のいずれかの術式を使用できます。以下の説明は、1回法/直接法による補綴術式を示しています。2回法/間接法による補綴術式については90～91ページを参照してください。

MPアバットメント： 1回法（直接法）術式



MPアバットメントの配置および密閉

印象はインプラントレベル（MPアバットメントは歯科技工所で選択）でもアバットメントレベル（MPインプラントアナログにモデルを装着）でも採得可能で、採得にはそれぞれの印象コーピングを使用します（印象採得の詳細については、39ページを参照）。

歯科技工所では、ガムシリコンおよびシリコンキーを使用して、歯牙情報の診断を行った後、ブリッジまたはハイブリッド構造作製のための模型上のワックスまたはレジン製のデザインテンプレートを作製します。

歯科技工所の手順

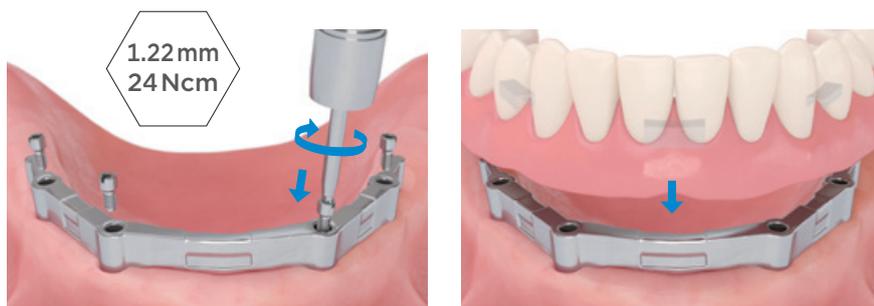
フレームワークのオーダーは、アトランティス ウェブオーダー（www.Atlantisweborder.com）から送信します。模型、該当する場合はMPインプラントアナログまたはMPアバットメントおよび診断用ワックスアップ模型またはデザイン テンプレートをデンツプライシロナ インプラントの製作所に送付します。

ブリッジおよびハイブリッド修復の機能性を審美性を向上させるために、歯科技工所はアングルドスクリューアクセスのオプションを利用することができます。これは、オーダー手順に記載されている必要があります。

デザイン

DDSC-Tokyoでは、模型および診断用歯牙情報を3Dスキャンし、上部構造をデザインします。デザインはミリング前に歯科技工所でアトランティスビューアを使用して確認され、製造の承認を受けます。

完成した上部構造は、対応するアトランティス補綴スクリューとともに提供されます。上部構造は歯科技工所でセラミックまたはコンポジットレジンで築盛され、スクリューとともに歯科医師に送付されます。



バーの配置

ヘックスドライバー 0.9mmを使用してMPアバットメントからMPシーリング キャップを取り外します。ヘックスドライバー 1.22mmを使用して24Ncmのトルクで、MPインサートスクリュー（MPアバットメントアングルドの場合はインサート ヘッド）の強固な適合を確認します。

補綴物の装着

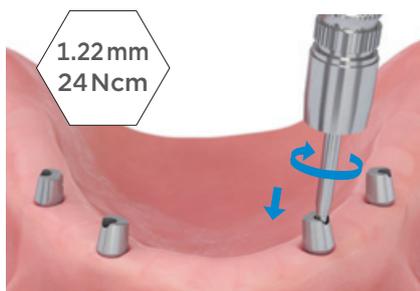
最終補綴物を装着します。

ステップバイステップ: アトランティス コーヌス コンセプト

アトランティス コーヌス コンセプトは、患者固有の非弾性でありながら可撤式の補綴のためのコニカル クラウン応用のソリューションです。これにより、固定式の口蓋修復の安定性と快適さが提供され、可撤式義歯の管理が容易になります。

暫間補綴物としては、アクリリックレジン製の既存または新規の総義歯を使用する必要があります。以下の例では、患者の既存の義歯を基にした、新規の支持フレームワークが不要な暫間修復向けの術式を説明します。3~6ヶ月後には、この補綴物を金属製フレームワークで支持する必要があります。

アクリリックレジン製の補綴物



歯科技工所の手順およびデザイン

模型および歯牙情報がスキャンされ、歯科技工所からアトランティス ウェブオーダーでアトランティス コーヌスアバットメントが発注されます。

アバットメント デザインが承認（必要な場合）されると、アトランティスコーヌスアバットメントの作製、検査が行われ、お客様に発送されます。

コーヌス アバットメントの配置

治癒後、できればインサージョンガイドを使用してアトランティス コーヌスアバットメントを取り付けます。コーヌス アバットメントはアバットメントスクリューにて、プロステティック ラチェットとフリーアデント ラチェットヘックス ドライバー 1.22mmを使用するか、トルク制御付きコントラアングル ハンドピースにドライバーインサートを装着したうえで、24Ncmで締め付けます。

コンポジットレジンを使用してスクリューアクセスホールを覆います。

キャップの配置および補綴物の準備

しっかりと圧力を加え、キャップをアバットメントに取り付けます。次に、シリコン製スリーブを付けて、アンダーカットを覆います。このスリーブは、常温重合レジンがキャップとアバットメントの間の歯肉溝に進入するのを防ぐのに役立ちます。あるいは、同じ方法でラバーダムを使用することもできます。

補綴物は、粘膜と調和し、機能的要件および審美的要件を満たしていなければなりません。キャップに必要なスペースを確保するため、補綴物を十分にリリースします。延長した機能マージンはできる限り短くする必要があります。

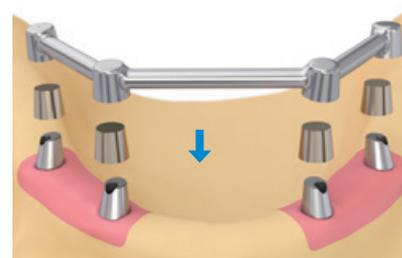


アトランティス コーヌス アバットメント



維持形態付きの既製キャップ（アクリリック レジン製の
暫間補綴物用）および維持形態無しのキャップ
（フレームワークへの正確な固定）

メタルフレームワーク補綴物



シンコーンキャップの 重合による取り込み

シンコーンキャップの固定およびピックアップは、次の2通りの方法のいずれかを使用して行うことができます。

- 直接法は、設けられた開口部から常温重合レジンまたは光重合型材料をコーピングに加えることで行われます。
- 間接法は、裏装の印象からキャップをピックアップして歯科技工所で加工することで行われます。

補綴物の装着

完成した補綴物を挿入し、維持、安定性、咬合を確認します。インプラントのみで支持されており、軟組織のどの部分にも圧力がかかっていないことを確かめるため、補綴物の粘膜面を確認する必要があります。

最終補綴物

最終補綴物には、支持フレームワークと患者の特定のニーズに対応した前庭延長部が含まれます。

注意：フレームワークのキャップへの結合は、歯科技工所ではなく口腔内で行う必要があります。

詳細については、アトランティス
コーヌス コンセプトの説明書を参照
してください。

クラス分類	販売名	一般の名称コード	一般の名称	承認・認証・届出番号
Ⅲ	フリアリット2 インプラント	42347000	歯科用骨内インプラント材	20700BZY00939000
Ⅲ	フリアリット2 アバットメント	70910000	歯科用インプラントアバットメント	20700BZY01229000
Ⅲ	IMZツインプラス アバットメント	70910000	歯科用インプラントアバットメント	20700BZY01240000
Ⅲ	ザイブ	42347000	歯科用骨内インプラント材	21600BZY00356000
Ⅲ	セルコン アバットメント	70910000	歯科用インプラントアバットメント	21700BZY00040000
Ⅲ	ザイブ ロケーターアバットメント	70910000	歯科用インプラントアバットメント	22800BZX00273000
Ⅲ	ザイブ MP アバットメント	70910000	歯科用インプラントアバットメント	23000BZX00113000
Ⅲ	ザイブ エステティックベースPS	70910000	歯科用インプラントアバットメント	23000BZX00145000
Ⅲ	ザイブ ジンジバルフォーマー C	70910000	歯科用インプラントアバットメント	30100BZX00261000
Ⅱ	ロケーター インサート	38577000	歯科用精密バーアタッチメント	228AMBZX00002000
Ⅱ	シムプラント	71043002	歯科インプラント用治療計画支援プログラム	23100BZX00032000
Ⅰ	ザイブ インプラント補綴用器具	70722000	歯科インプラント補綴用器具	13B1X10236Y05110
Ⅰ	ザイブ 手術用ドリルビット	32390000	手術用ドリルビット	13B1X10236Y05120
Ⅰ	ザイブ 手術用ドリルアタッチメント	37870001	手術用ドリルアタッチメント	13B1X10236Y05130
Ⅰ	ザイブ インプラント手術用器具	70965001	歯科用インプラント手術器具	13B1X10236Y05140
Ⅰ	IMZ インプラント補綴用器具	70722000	歯科インプラント補綴用器具	13B1X10236Y05160
Ⅰ	IMZ 手術用ドリルビット	32390000	手術用ドリルビット	13B1X10236Y05170
Ⅰ	IMZ 手術用ドリルアタッチメント	37870001	手術用ドリルアタッチメント	13B1X10236Y05180
Ⅰ	IMZ インプラント手術用器具	70965001	歯科用インプラント手術器具	13B1X10236Y05190
Ⅰ	IMZ インプラント技工用器材	70757000	歯科インプラント技工用器材	13B1X10236Y05200
Ⅰ	フリアリット2 インプラント補綴用器具	70722000	歯科インプラント補綴用器具	13B1X10236Y05210
Ⅰ	フリアリット2 手術用ドリルビット	32390000	手術用ドリルビット	13B1X10236Y05220
Ⅰ	フリアリット2 手術用ドリルアタッチメント	37870001	手術用ドリルアタッチメント	13B1X10236Y05230
Ⅰ	フリアリット2 インプラント手術用器具	70965001	歯科用インプラント手術器具	13B1X10236Y05240
Ⅰ	フリアリット2 インプラント技工用器材	70757000	歯科インプラント技工用器材	13B1X10236Y05250
Ⅰ	ザイブ ツイストドリルG S用スリーブ	37150000	ガイド	13B1X10236Y05270
Ⅰ	DIMインプラント用ドリルエクステンション	37870001	手術用ドリルアタッチメント	13B1X10236Y05290
Ⅰ	シムプラント ガイド	35095000	手術用ドリルビットガイド	13B1X10236Y05360
Ⅰ	ロケーター インstrument	70722000	歯科インプラント補綴用器具	13B1X10236Y05380
Ⅰ	ロケーター 技工用器具	70757000	歯科インプラント技工用器材	13B1X10236Y05430
Ⅰ	ロケーター 補綴用器具	70722000	歯科インプラント補綴用器具	13B1X10236Y05440
Ⅰ	ザイブ 手術用ドリルビット(外部注水)	32390000	手術用ドリルビット	13B1X10236Y05520
Ⅰ	ザイブ トランスファーコーピング C	70722000	歯科インプラント補綴用器具	13B1X10236Y05570

デンツプライシロナ インプラントについて

デンツプライシロナ インプラントは、アンキロス、アストラテックインプラントシステムおよびザイブのインプラント等のラインアップ、患者固有のアトランティス ソリューションやシムプラントガイドドサージェリーなどのデジタル技術、インプラント治療のすべてのフェーズに対応した包括的なソリューションを提供しています。デンツプライシロナ インプラントは、歯科医療従事者のために必要な価値を創出し、予知性が高く長期に安定したインプラント治療を実現し患者のQOLの向上を目指しています。

デンツプライシロナについて

デンツプライシロナは、世界最大級の歯科向け製品およびテクノロジーのメーカーで、世界の歯科業界と患者に向け、革新的なサービスを130年にわたり提供しています。デンツプライシロナは、世界的ブランドの強力なポートフォリオの下、歯科製品および口腔衛生製品を含む包括的なソリューション、並びにその他の医療用消費器材を開発、製造、および販売しています。

デンタルソリューションカンパニーとしてのデンツプライシロナの製品は、革新的で高品質かつ効果的なソリューションを提供することにより、患者のケアを向上させ、より優れた安全かつスピーディーな歯科治療を実現します。デンツプライシロナはノースカロライナ州シャーロットに本社を構え、オーストリアのザルツブルグに海外事業本部を構えています。同社の株式は、XRAY 銘柄で米国NASDAQに上場しています。

デンツプライシロナおよび同社製品の詳細については、www.dentsplysirona.comを参照してください。

THE DENTAL
SOLUTIONS
COMPANY

